

HP コマーシャル PC BIOS (UEFI) セットアップ 管理者ガイド

ビジネス ノートブック PC およびデスクトップ PC
2015 年モデル版

2016 年 10 月 3 日



目次

1 概要	5
2 はじめに	6
2.1 サポートモデル	6
3 F10 メインメニュー	10
3.1 メインメニュー	11
3.2 システム BIOS のアップデートメニュー	13
3.3 BIOS Update Preferences メニュー	15
3.4 Network Configuration Settings メニュー	17
3.5 システム ID メニュー	18
4 セキュリティメニュー	17
4.1 パスワードポリシー メニュー	21
4.2 TPM 内蔵セキュリティ メニュー	22
4.3 BIOS Sure Start メニュー	24
4.4 スマートカバー メニュー (デスクトップのみ)	25
4.5 ハードドライブユーティリティメニュー	26
4.6 DriveLock メニュー	27
5 詳細設定 メニュー	27
5.1 詳細設定 メニュー	28
5.2 表示言語 メニュー	30
5.3 スケジュールされた電源投入 メニュー	31
5.4 ブートオプションメニュー	31
5.5 セキュア ブートの構成 メニュー	35
5.6 システムオプションメニュー	37
5.7 内蔵デバイスオプションメニュー	40
5.8 ポートオプションメニュー	44
5.9 オプション ROM の起動ポリシー メニュー	41
5.10 Power Management Options メニュー	42
5.11 Remote Management Options メニュー (Intel のみ)	44

6 UEFI Drivers	45
7 コンピューターからの通知	46
7.1 はじめに	46
7.2 点滅とビープコード	47
7.3 ポップアップメッセージ	48
8 付録 1	49
8.1 UEFI とは?	49
8.2 はじめに	49
8.3 UEFI の利点	49
8.4 UEFI ブートプロセスの概要	49

表の一覧

表 1 ノート PC のジェネレーション	6
表 2 デスクトップ PC のジェネレーション	7
表 3 2014 年から追加されたモデル	8
表 4 メインメニューの機能	11
表 5 システム BIOS のアップデートメニューの機能	13
表 6 BIOS Update Preferences Menu の機能	14
表 7 Network Configuration Settings メニューの機能	15
表 8 システム ID メニューの機能	16
表 9 セキュリティ メニューの機能	18
表 10 パスワードポリシーメニューの機能	20
表 11 TPM 内蔵セキュリティ メニューの機能	22
表 12 BIOS Sure Start メニューの機能	23
表 13 スマートカバー メニューの機能	24
表 14 ハードドライブユーティリティメニューの機能	25
表 15 DriveLock メニューの機能	25
表 16 詳細設定 メニューの機能	28
表 17 表示言語 メニューの機能	29
表 18 スケジュールされた電源投入 メニューの機能	30
表 19 ブートオプションメニューの機能	30
表 20 セキュアブートの構成 メニューの機能	33
表 21 システムオプションメニューの機能	34
表 22 内蔵デバイスオプションメニューの機能	36
表 23 ポートオプションメニューの機能	39
表 24 オプション ROM の起動ポリシー メニューの機能	41
表 25 Power Management Options メニューの機能	42
表 26 Remote Management Options メニューの機能	43
表 27 コンピューターの通知	47
表 28 ポップアップメッセージ	48

1 概要

HP は 2015 年モデルの PC から最新の CPU とオペレーティングシステムをサポートするために BIOS を再デザインしました。HP はこの機会に UEFI バージョン 2.4 の仕様に基つきノート PC とデスクトップ PC の両方をサポート可能な共通のコアモジュールによる新しい BIOS アーキテクチャを作成しました。これによりこの世代の BIOS を使用する HP のノート PC とデスクトップ PC の F10 セットアップメニューは同じ操作感を持ち、従来の BIOS と比べて共通の機能が増えています。

2 はじめに

本資料では F10 BIOS セットアップメニューから設定可能な機能（項目）の詳細情報を説明します。コンピューターからの通知のセクションでは LED ランプの点滅コードと画面に表示されるメッセージについて説明します。

HP では数十年もの間、Read Only Memory Basic Input/Output System (ROM BIOS)を通じて業界最先端レベルの価値を顧客に提供して来ました。ROM BIOS とは PC にオペレーティングシステムをロードし、ストレージドライブ、キーボード、ディスプレイ、スロット、ポートなどの様々なデバイスと通信するためのルーチンの集合体です。HP の BIOS はファームウェアと HP Client Security、HP Power Assistant、HP Client Management Solutions などの HP プロフェッショナルイノベーションとの高度なインテグレーションを確かなものにします。

現在、HP のノート PC とデスクトップ PC で共通の操作感の BIOS が開発されました。デスクトップ PC の BIOS ではノート PC の BIOS のユーザーインターフェースと同じようにマウスによる操作が可能になりました。ユーザーが新しい機能を理解しやすいように、各機能の説明には（以前のバージョンと異なる場合）以前のバージョンの BIOS での名前と場所を記載しています。

本資料に記載されている BIOS の設定項目は全ての機種において利用可能という訳ではありません。お使いの PC の機種によっては利用できない BIOS 設定項目もあります。

2.1 サポートモデル

本資料は 2015 年モデルの HP コマーシャル ノート PC およびデスクトップ PC に対応しています。

前述の通り、BIOS セットアップメニューは前の年のモデルかが大幅に変更されています。ご参考までに、以下の表は特定のモデルに関連付けされた年を示しています。以下の機能説明では 2014 年モデルへの参照は 2014 年モデルおよびそれ以前のモデルに適用可能です。

表 1 ノート PC のジェネレーション

プラットフォーム		2013	2014	2015
HP EliteBook Folio	9480m		x	
HP EliteBook Folio	1040		G2	G3
HP EliteBook Folio	1020		G1	
HP ZBook	17	x	G2	G3
HP ZBook	15	x	G2	G3
HP ZBook	14	x	G2	
HP ZBook	15u		G2	G3
HP EliteBook	850	G1	G2	G3
HP EliteBook	840	G1	G2	G3
HP EliteBook	820	G1	G2	G3
HP EliteBook	755		G2	G3
HP EliteBook	745		G2	G3
HP EliteBook	725		G2	G3
HP ProBook	470		G2	G3

プラットフォーム		2013	2014	2015
HP ProBook	450		G2	G3
HP ProBook	440		G2	G3
HP ProBook	430		G2	G3
HP ProBook	445		G2	G3
HP EliteFolio	940	x		
HP EliteBook Folio				G3
HP EliteBook	Revolve 810			G3
HP ProBook				G2
HP ZBook Studio				G3
HP ProBook	455			G3

表 2 デスクトップ PC のジェネレーション

プラットフォーム		2014	2015
HP EliteDesk	800 TWR		G2
HP EliteDesk	880 TWR		G2
HP EliteDesk	800 SFF		G2
HP EliteDesk	800 DM (35W)	G1	G2
HP EliteDesk	800 DM (65W)		G2
HP EliteOne	800 AiO 23 T & NT (GPU down)		G2
HP EliteOne	800 AiO 23 T	G1	G2
HP EliteOne	800 AiO 23 NT		G2
HP EliteDesk	705 MT	G1	G2
HP EliteDesk	705 SFF	G1	G2
HP EliteDesk	705 DM	G1	G2
HP EliteOne	705 AiO 23 T (23 NT dropped)	G1	G2
HP ProDesk	600 MT	G1	G2
HP ProDesk	680 MT		G2
HP ProDesk	600 SFF		G2
HP ProDesk	600 DM	G1	G2
HP ProOne	600 AiO 21.5 T (EMEA only)		G2
HP ProOne	600 AiO 21.5 NT		G2
HP ProDesk	400 SFF (2x2)	G2	G2.5
HP ProDesk	400 MT	G2	G3

プラットフォーム		2014	2015
HP ProDesk	400 SFF (2x2)		
HP ProDesk	480 MT	G2	G3
HP ProDesk	490 MT	G2	G3
HP ProDesk	498 MT	G2	G3
HP ProDesk	400 DM		G1
HP ProDesk	400 DM		G2
HP ProOne	400 AiO 20 T/NT		G2
HP ProOne	460/480 AiO 20 T		G2
HP Collaboration PC			G2

表 3 2014 年から追加されたモデル

Platforms		2014
HP EliteOne	800 AiO 21.5 NT	G1
HP EliteDesk	705 MT	G1
HP EliteDesk	700 SFF	G1
HP EliteDesk	700 MT	G1
HP ProDesk	405 MT	G1
HP ProDesk	485 MT	G2
HP ProDesk	405 MT	G2
HP ProDesk	485 MT	G2
HP ProDesk	405 MT	G2
HP ProDesk	485 MT	G2
HP ProDesk	400 MT	G2
HP ProDesk	400 SFF	G2
HP ProOne	400 AiO 19.5 NT	G2
HP ProOne	400 AiO 21.5 T	G2
HP ProOne	400 AiO 21.5 T	G2
HP 402 SFF		G1
HP 406 MT		G1
HP 18 AiO Business		

本資料は 2015 年から 2016 年に導入された N ファミリーの BIOS の製品に対応しています。

N ファミリーの BIOS は N から始まるバージョンです。例：“N01 ver. 02.04 10/12/2015.”

お使いの製品がこの資料に対応しているかどうかは F10 セットアップメニューを表示する事で簡単に確認することができます。新 BIOS では以下の 4 つのタブが表示されます。

- メイン (Main)
- セキュリティ (Security)
- 高度な (Advanced)
- UEFI ドライバー (UEFI Drivers) .

UEFI ドライバー (UEFI Drivers) タブは新しく追加された項目です。

3 F10 メインメニュー

メイン (Main)	セキュリティ (Security)	詳細設定 (Advanced)	UEFI ドライバー (UEFI Drivers)	
HP Computer Setup				

本セクションの構造:

目次の階層は、現在 3 階層の F10 セットアップメニューにあるメニューの順番と同じです。

一番上の階層のタブは: メイン (Main)、セキュリティ (Security)、高度な (Advanced)、UEFI ドライバー (UEFI Drivers) です。

次の階層はこれらのタブの下にあるメニューです。

メジャーセクションの冒頭には各タブのサブメニューアイテムの表が書かれています。表には各メニューの機能の一覧が表示されています。

表の上部には階層構造の中でのメニューの位置が記載されています。

高度な (Advanced) -> ポート オプション (Port Options)				
機能	タイプ	説明	初期値	注記

テーブルには「機能」、「タイプ」、「説明」、「初期値」、「注記」の列があります。以下はそれぞれの項目の説明または定義です。

機能

セットアップメニューに表示される設定項目の名前です。

タイプ

機能を「Setting」、「Action」、「Menu」、「DisplayOnly」のタイプに分類します。ほとんどの機能が「設定」になります。「Setting」はユーザーがチェックボックス、ドロップダウンメニューまたはテキストボックスなどで設定変更可能なシステム値です。

説明

その機能がドロップダウンボックスを表示するタイプの場合、選択可能な項目を表示します。その機能が新規に追加されたものや以前の BIOS から名前や場所が変更されている場合、以前の名前や場所を説明します。ユーザーがその機能にアクセスするために選択しないといけないメニューを記述します。

例: メニュー 1->メニュー 2->機能 X の表記は、機能 X にアクセスするためにはメニュー 1 とメニュー 2 を経由する事を表しています。

初期値

工場出荷時の初期設定値を表します。

注記

一部の機能はすべてのタイプのモデルで利用可能ではありません。注記にはその機能が Intel のみ、AMD のみ、ノート PC のみ、デスクトップ PC のみを記述します。

一部のアクションは再起動や物理的プレゼンスを必要とします。物理プレゼンスはアクションを完了する前にユーザーが物理的にその場所にいる事を確認するためのユーザーの応答を要求するメニューです。物理プレゼンスを要求するアクションはセキュリティの設定変更です。

メイン (Main)	セキュリティ (Security)	詳細設定 (Advanced)	UEFI ドライバー (UEFI Drivers)	
---------------	----------------------	--------------------	------------------------------	---

HP Computer Setup

- ⇒ [システム情報 \(System Information\)](#)
- ⇒ [システム診断 \(System Diagnostics\)](#)
- ⇒ [システム BIOS のアップデート \(Update System BIOS\)](#)
- ⇒ [システム ID \(System IDs\)](#)
- ⇒ [複製されたセットアップ \(Replicated Setup\)](#)
- ⇒ [カスタムの初期設定の保存 \(Save Custom Defaults\)](#)
- ⇒ [カスタムの初期設定を適用して終了 \(Apply Custom Defaults and Exit\)](#)
- ⇒ [工場出荷時の設定を適用して終了 \(Apply Factory Defaults and Exit\)](#)
- ⇒ [変更を無視して終了 \(Ignore Changes and Exit\)](#)
- ⇒ [変更を保存して終了 \(Save Changes and Exit\)](#)

3.1 メインメニュー

次の表はメインメニューの機能について説明します。

表 4 メインメニューの機能

メイン (Main)				
機能	タイプ	説明	初期値	注記
システム情報 (System Information)	Menu	シリアル番号、モデル番号、CPU タイプ、メモリ構成などのシステム情報 2014 デスクトップ: ファイル-> システム情報		
システム診断 (System Diagnostics)	Menu	システムテスト、コンポーネントテストなどのシステムの診断テストを実行するためのアプリケーションを起動します。 2014 デスクトップ: 2015 新機能		

システム BIOS のアップデート (Update System BIOS)	Menu	ハードドライブの FAT 32 パーティション、USB フラッシュドライブ、またはネットワークから BIOS ファームウェアをアップデートします。 2014 デスクトップ: ファイル-> フラッシュ システム ROM		
システム ID (System IDs)	Menu	企業がシステムの追跡のために割り当てる個体識別用の文字列を設定します。 2014 ノート&デスクトップ: セキュリティ-> システム ID		
複製されたセットアップ (Replicated Setup)	Action	現在の BIOS 設定の USB デバイスへの保存と、USB デバイスからの BIOS 設定の復元を行います。 2014 ノート: 2015 新機能		
カスタムの初期設定の保存 (Save Custom Defaults)	Action	工場出荷時設定の代わりに、カスタムの初期設定値を作成します。ただしセキュリティ設定をカスタムの初期設定に含めることは出来ません。 2014 ノート: 2015 新機能 2014 デスクトップ: ファイル-> デフォルト値の変更-> 現在の設定を初期値として保存		再起動が必要
カスタムの初期設定を適用して終了 (Apply Custom Defaults and Exit)	Action	セキュリティ設定以外のカスタムの初期設定を設定します。 注記: 2014 年度のデスクトップでは、1 種類の初期設定のみ適用する事ができました。2015 年のモデルではカスタムの初期設定または工場出荷時設定のどちらかを適用する事ができます。 2014 ノート: 2015 新機能 2014 デスクトップ: ファイル-> デフォルト値の変更-> デフォルト値に設定して終了		
工場出荷時設定を適用して終了 (Apply Factory Defaults and Exit)	Action	セキュリティ設定以外の設定を工場出荷時設定に適用します。セキュリティ設定に対する工場出荷時設定の適用はセキュリティメニューの章をご参照ください。 2014 ノート: メイン-> 初期設定に戻す 2014 デスクトップ: 2 段階の手順です。 <ul style="list-style-type: none"> ファイル-> デフォルト値の変更-> 工場出荷時設定をデフォルト値として復元 ファイル-> デフォルト値に設定して終了 		
変更を無視して終了 (Ignore Changes and Exit)	Action	現在のセッションで行った変更内容を保存しないで F10 セットアップを終了します。 2014 デスクトップ: ファイル-> 変更を保存しないで終了		
変更を保存して終了 (Save Changes and Exit)	Action	F10 セットアップを終了し、現在のセッションで行った変更内容のすべてを保存します。 2014 デスクトップ: ファイル-> 変更を保存して終了		

3.2 システム BIOS のアップデートメニュー

メインメニューの下にあるこのサブメニューでは、現在のシステム BIOS 情報の確認、インターネットまたは LAN 経由でシステム BIOS をアップデートするための設定、ハードドライブの FAT 32 パーティションまたは USB フラッシュドライブからのシステム BIOS をアップデートの実行を行う事ができます。

BIOS のフラッシュの実行中はどの段階においても電源ケーブルを抜いたり電源をオフにしないでください。以下に BIOS フラッシュの 4 つの段階を説明します。

1. 最初にシステムは進捗バーを表示します。進捗が 100%になるとシステムは再起動します。
2. 画面には何も表示されない状態で、電源の LED が点滅し、何度かビーブ音が鳴ります。この間システムはブートブロックをフラッシュしています。画面には何も表示されませんのでこの LED の点滅とビーブ音が鳴る事でシステムが正常にフラッシュしている事を判断します。
3. (Sure Start が有効なシステムの場合) システムが DXE を HP Security Device にコピーしている事を示す画面が表示されます。
4. 少しの間画面の表示が消え、その後 OS が起動します。これで BIOS フラッシュは完了です。

表 5 システム BIOS のアップデートメニューの機能

メイン (Main) → システム BIOS のアップデート (Update System BIOS)				
機能	タイプ	説明	初期値	注記
Current System BIOS Version	Display Only	現在の BIOS のバージョン		
Current BIOS Release Date	Display Only	現在の BIOS のリリース日		
Installation Date of Current BIOS	Display Only	現在の BIOS のインストール日		
Most Recent Update Check	Display Only	最後にアップデートのチェックをした日		
Check the Network for BIOS Updates (or) Check HP.com for BIOS Updates	Action	hp.com または "BIOS Update Preferences" メニューで指定した別の場所に保存された BIOS イメージを使用してシステム BIOS をアップデートします。 この機能は HP.com の BIOS を使用する場合、"Check HP.com for BIOS Updates" と表示されます。 2014 デスクトップ: ファイル → フラッシュ システム ROM → ネットワーク		再起動が必要
<input type="checkbox"/> Lock BIOS version	Setting	チェックボックスが有効の場合、BIOS のアップデートを禁止します。 2014 デスクトップ: 2015 新機能	チェック無 (無効)	

<input type="checkbox"/> Allow BIOS Update using a Network	Setting	<p>チェックボックスが有効の場合、スケジュール設定に応じてネットワーク経由で BIOS を自動更新します。 .</p> <p>2014 デスクトップ: カスタム -> Update BIOS via Network -> Automatic BIOS Update Setting</p>	チェック有 (有効)	
BIOS Update Preferences	Menu	<p>BIOS の入手先、アップデートが利用可能な場合の動作、アップデートのチェックの頻度などの設定を行います。</p> <p>2014 ノート: メイン-> ネットワーク アップデートの設定</p> <p>2014 デスクトップ: カスタム-> Update BIOS via Network</p>		
Network Configuration Settings	Menu	<p>BIOS アップデートに使用するサーバーに接続するためのネットワーク接続の設定.を行います。</p> <p>2014 ノートおよびデスクトップ: 2015 新機能</p>		
Update BIOS using Local Media	Action	<p>ハードドライブまたは FAT 32 フォーマットの USB フラッシュドライブまたは EFI システムパーティションなどのローカルメディアに保存された BIOS イメージを使用してシステム BIOS をアップデートします。 .</p> <p>2014 デスクトップ: ファイル-> フラッシュシステム ROM-> ハードドライブ</p>		再起動 が必要

3.3 BIOS Update Preferences メニュー

この“Update System BIOS”のサブメニューでは、ネットワーク経由でシステム BIOS をアップデートする際のアップデートのチェックの有効化、BIOS の入手先、アップデートが利用可能な場合の動作、アップデートのチェックの頻度などの設定を行います。

表 6 BIOS Update Preferences Menu の機能

メイン (Main) ->システム BIOS のアップデート (Update System BIOS) ->BIOS Update Preferences				
機能	タイプ	説明	初期値	注記
<input type="checkbox"/> Check for Update on Next Reboot	Action	<p>チェックボックスが有効の場合、次回起動時に新しい BIOS が利用可能かどうかチェックを行います。F10 セットアップメニューから“メイン->システム BIOS のアップデート-> Check the Network for BIOS Updates”を選択すると再起動せずにアップデートのチェックを実行できます。</p> <p>2014 ノート: メイン -> ネットワーク アップデートの設定 -> Check for Update on Next Reboot</p> <p>2014 デスクトップ: カスタム -> Update BIOS via Network -> Force Check on Next Reboot</p>	チェック無 (無効)	再起動が必要
BIOS Source	Setting	<p>BIOS の入手先の URL を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • HP.com • Custom URL (カスタムの URL) <p>2014 ノート: メイン -> ネットワーク アップデートの設定 -> BIOS Source</p> <p>2014 デスクトップ: カスタム -> Update BIOS via Network -> Update Source</p>	HP.com	
Edit Custom URL	Setting	<p>HP.com 以外から BIOS を入手する場合は、ここでカスタムの URL を設定します。</p> <p>2014 ノート: メイン -> ネットワーク アップデート設定 -> BIOS Source -> Edit Custom URL</p> <p>2014 デスクトップ: カスタム -> Update BIOS via Network -> Update Address</p>		

Automatic BIOS Update Setting	Setting	<p>自動アップデートの際の動作を選択します。以下の設定が選択可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Do not update (アップデートしない) • Check for BIOS updates automatically, but let me decide whether to install them (BIOS のアップデートを自動的にチェックするが、インストールするかどうかは後で決める) • Download and install normal BIOS update automatically (通常の更新 BIOS を自動的にダウンロードおよびインストールする) • Download and install important BIOS updates automatically (重要な更新 BIOS を自動的にダウンロードおよびインストールする) <p>2014 ノート: メイン -> ネットワーク アップデート 設定 -> Automatic BIOS Update Setting</p> <p>2014 デスクトップ: カスタム -> Update BIOS via Network -> Automatic BIOS Update Setting</p>	Do Not Update	
BIOS Update Frequency	Setting	<p>BIOS アップデート サーバーを確認する頻度を設定します。ネットワーク サーバーで新しいバージョンの BIOS が利用可能になった場合、システムは BIOS をアップデートするように要求します。以下の設定が選択可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Daily (毎日) • Weekly (毎週) • Monthly (毎月) <p>2014 ノート: メイン -> ネットワーク アップデート 設定 -> BIOS Update Frequency</p> <p>2014 デスクトップ: カスタム -> Update BIOS via Network -> Automatic Update Frequency</p>	Monthly	

3.4 Network Configuration Settings メニュー

この“Update System BIOS”のサブメニューではシステム BIOS アップデートに使用するサーバーに接続するためのネットワーク設定を行います。

表 7 Network Configuration Settings メニューの機能

メイン (Main) -> システム BIOS のアップデート (Update System BIOS) -> Network Configuration Settings				
機能	タイプ	初期値	初期値	注記
<input type="checkbox"/> Proxy Server	Setting	チェックボックスが有効の場合、プロキシサーバーを使用する事ができます。 2014 Notebook: Main -> Network Update Settings -> Proxy server 2014 Desktop: Advanced -> Connected BIOS -> Use Proxy	チェック無 (無効)	
<u>Edit Proxy Server</u>	Setting	プロキシサーバーのアドレスとポート番号を設定します。 例： Proxy.host.com:8088 Proxy.host.com 192.168.0.1:8088 2014 ノート: メイン-> ネットワーク アップデート 設定-> Edit Proxy Server 2014 デスクトップ: カスタム-> Connected BIOS -> Use Proxy		
<u>Test Network Connection</u>	Action	現在の BIOS アップデート設定を使用してネットワークの接続テストを行います。 2014 ノート: メイン-> ネットワーク アップデート 設定-> Test Network Connection 2014 デスクトップ: 2015 新機能		
IPv4 Configuration	Setting	IPv4 アドレスの取得方法を設定します。以下の設定が選択可能です。 <ul style="list-style-type: none">• Automatic• Manual 2014 ノート & デスクトップ: 2015 新機能	Automatic	

IPv4 Address	Setting	IPv4 settings が manual の場合に固定 IP アドレスを設定します。2014 ノート&デスクトップ:2015 新機能		
IPv4 Subnet Mask	Setting	IPv4 settings が manual の場合にサブネットマスクを設定します。2014 ノート&デスクトップ:2015 新機能		
IPv4 Gateway	Setting	IPv4 settings が manual の場合にゲートウェイアドレスを設定します。2014 ノート&デスクトップ:2015 新機能		
DNS Configuration	Setting	DNS サーバーアドレスの取得方法を設定します。以下の設定が選択可能です。 <ul style="list-style-type: none"> Automatic Manual 2014 ノート&デスクトップ:2015 新機能	Automatic	
DNS Addresses	Setting	DNS configuration が manual の場合、DNS サーバーアドレスを設定します。複数設定する場合はコンマで区切ります。 2014 ノート&デスクトップ:2015 新機能		
Data Transfer Timeout	Setting	データ転送のタイムアウト値を秒単位で設定します。15 秒以下に設定しない事をお勧めします。s 2014 ノート&デスクトップ:2015 新機能	30	
<input type="checkbox"/> Force HTTP No Cache	Setting	チェックボックスが有効の場合、HTTP キャッシングが無効になります。これにより上流のプロキシでのキャッシングも同様に無効になる事を意味し、更新された BIN ファイルやカタログファイルをコンテンツソースから取得するためダウンロードが少し遅くなる可能性があります。 2014 ノート&デスクトップ:2015 新機能	チェック無 (無効)	

3.5 システム ID メニュー

このサブメニューでは、企業がシステム追跡のために割り当てる個体識別用の文字列を設定します。

表 8 システム ID メニューの機能

メイン (Main) -> システム ID (System IDs)				
機能	タイプ	説明	初期値	注記
アセットタグ (Asset Tracking Number)	Setting	カスタムのアセットタグを最大 18 文字で設定できます。 2014 ノート&デスクトップ:セキュリティ->システム ID->アセットタグ	シリアル番号	
オーナーシップタグ (Ownership Tag)	Setting	カスタムのオーナーシップタグを最大 80 文字で設定できます。 2014 ノート: セキュリティ->システム ID->オーナーシップタグ(40 文字) S セキュリティ->システム ID->オーナーシップタグ 2 (40 文字) 2014 デスクトップ:セキュリティ->システム ID	空欄	

4 セキュリティメニュー

メイン (Main)	セキュリティ (Security)	詳細設定 (Advanced)	UEFI ドライバー (UEFI Drivers)	
---------------	----------------------	--------------------	------------------------------	---

HP Computer Setup

管理者ツール (Administrator Tools)

- ⇒ [BIOS 管理者パスワードの作成/変更 \(Create/Change BIOS Administration Password\)](#)
- ⇒ [POST 電源投入時パスワードの作成/変更 \(Create/Change POST Power-On Password\)](#)
- ☐ 再起動時に指紋認証をリセット (指紋認証デバイスのあるノート PC のみ)
(**Fingerprint Reset on Reboot** (Notebook with Fingerprint Reader Only))
- ⇒ [パスワードポリシー \(Password Policies\)](#)

セキュリティ構成 (Security Configuration)

- ⇒ [TPM 内蔵セキュリティ \(TPM Embedded Security\)](#)
- ⇒ [BIOS SureStart](#)
- ⇒ [Smart Cover](#) (デスクトップのみ)
- ☐ **Trusted Execution Technology (TXT)**
TXT cannot be enabled unless VTx, VTd and TPM are enabled first
- Intel Software Guard Extensions (SGX)**

ユーティリティ (Utilities)

- ⇒ [ハードドライブユーティリティ \(Hard Drive Tools\)](#)
- Absolute® Persistence Module の現在の状態 (Absolute® Persistence Module Current State)**
有効化のステータス: (Activation Status:)
Absolute® Persistence Module の恒久的な無効化: (Absolute® Persistence Module Permanent Disable:)

☐ システム管理コマンド (System Management Command (SMC))

- ⇒ [Restore Security Settings to Factory Defaults](#)

表9 セキュリティ メニューの機能

セキュリティ (Security)				
機能	タイプ	説明	初期値	注記
BIOS 管理者パスワードの作成 (Create BIOS Administrator Password) または BIOS 管理者パスワードの変更 (Change BIOS Administrator Password)	Setting	BIOS 管理者パスワードは、F10 セットアップメニュー、3 rd パーティオプシオン ROM マネージメント (F3)、BIOS のアップデート、システム設定を変更するための WMI コマンド、BIOS Configuration Utility(BCU)へのアクセスを制御します。管理者パスワードを設定していない場合は誰でもこれらの設定を変更することが出来てしまいます。電源投入時パスワードが設定されている場合には、管理者パスワードを電源投入時パスワードの代わりに使用する事ができます。 電源投入時パスワードが設定されている場合には管理者パスワードも設定しておく事をお勧めします。電源投入時パスワードを忘れてしまった際に管理者が”セキュリティ設定を工場出荷時状態にリセットする”を使用して電源投入時パスワードをリセットする事ができます。 2014 ノート:セキュリティ->BIOS F10 セットアップの管理者パスワードの作成 2014 デスクトップ:セキュリティ->セットアップパスワード		
POST 電源投入時パスワードの作成 (Create POST Power-On Password) または POST 電源投入時パスワードの変更 (Change POST Power-On Password)	Setting	OS のパスワードとは別に、PC の電源投入時に要求されるパスワードを設定します。電源投入時パスワードを設定していない場合は誰でも PC を起動する事ができます。管理者パスワードに加えて、電源投入時パスワードを 1 つのみ設定する事ができます。 電源投入時パスワードが設定されている場合には管理者パスワードも設定しておく事をお勧めします。電源投入時パスワードを忘れてしまった際に管理者が”セキュリティ設定を工場出荷時状態にリセットする”を使用して電源投入時パスワードをリセットする事ができます。 2014 ノート:セキュリティ->ユーザー管理->BIOS ユーザアカウントの新規作成 (HP Client Security ユーザーを含む、複数のユーザーを作成してパスワードの設定が可能) 2014 デスクトップ: セキュリティ -> 電源投入時およびドライブロック パスワード		
<input type="checkbox"/> 再起動時に指紋認証をリセット (Fingerprint Reset on Reboot)	Action	チェックボックスが有効の場合、次の再起動時に指紋認証情報をリセットします。再起動後はこのチェックボックスのチェックは無くなり無効になります。 2014 ノート:セキュリティ->再起動時に指紋認証をリセット (存在する場合)	チェック無 (無効)	ノートのみ
パスワードポリシー (Password Policies)	Menu	管理者が BIOS 管理者パスワードと POST 電源投入時パスワードの条件に関するさまざまなルールを設定できるようにします。 2014 デスクトップ: 2015 新機能		

TPM 内蔵セキュリティ (TPM Embedded Security)	Menu	<p>Trusted Platform Module (TPM)の各種設定を行います。TPM は安全な通信とソフトウェアとハードウェアの整合性のためにセキュリティ機能を提供するための専用のマイクロプロセッサです。TPM ハードウェアによるソリューションはソフトウェアのみのソリューションよりも安全です。</p> <p>2014 デスクトップ: 2015 新機能</p> <p>個別の TPM 機能の詳細については本資料の TPM 内蔵セキュリティメニューの章をご参照ください。</p>		
BIOS Sure Start	Menu	<p>HP Sure Start の動作を設定します。HP Sure Start は内蔵のハードウェアセキュリティシステムで、BIOS を事故やマルウェアによる破壊から保護します。(1)BIOS が壊れている事を検知し、(2)最後にインストールされた HP に承認されたバージョンの BIOS を復元します。</p> <p>2014 ノート: セキュリティ -> Sure Start</p> <p>2014 デスクトップ: 2015 新機能</p>		
Smart Cover	Menu	<p>デスクトップのカバー ロックとカバー センサーの動作を設定します。</p>		カバーロック付きのデスクトップのみ
<input type="checkbox"/> Trusted Execution Technology (TXT)	Setting	<p>チェックボックスが有効の場合、Trusted Execution Technology が有効になります。</p> <p>注記: この機能を有効にすると内蔵セキュリティデバイスのリセットおよび VTx, Vtd と内蔵セキュリティデバイスの設定を防止するために、内蔵セキュリティデバイスの OS 管理が無効になります。</p> <p>2014 ノート & デスクトップ: 2015 新機能</p>	Unchecked	Intel のみ再起動が必要
Intel Software Guard Extensions (SGX)	Setting	<p>Intel Software Guard Extensions を有効化します。以下の設定が可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 有効化 (Enabled) 無効化 (Disabled) <p>注記: この機能は Intel vPro 対応のシステムでのみ利用可能です。</p> <p>2014 ノート & デスクトップ: 2015 新機能</p>	Disabled	Intel のみ
ハードドライブユーティリティ (Hard Drive Utilities)	Menu	<p>ハードドライブ内の情報を保護するためのユーティリティ: Drive Lock とセキュリティで保護された消去 (Secure Erase)。</p> <p>2014 ノート: セキュリティ -> ハードドライブツール</p> <p>2014 デスクトップ: 2015 新機能</p>		

Absolute® Persistence Module の現在の状態 (Absolute® Persistence Module)	Heading	Absolute® Software 社の盗難対策のトラッキングやデータ消去などを行うサブスクリプションサービスで使用する Persistence Module の状態を示します。 2014 ノート: セキュリティ -> 盗難防止ツール 2014 デスクトップ: 2015 新機能		
有効化のステータス (Activation Status)	Display Only	サブスクリプションの状態を表示します。 アクティブでない (Inactive) 、アクティブ (Active) 、無効 (disabled) 2014 ノート: セキュリティ -> 盗難防止ツール 2014 デスクトップ: 2015 新機能	アクティブでない	
Absolute® Persistence Module の恒久的な無効化 (Absolute® Persistence Module Permanent Disable)	Display Only	2014 ノート: 2015 新機能 2014 デスクトップ: 2015 新機能	いいえ	
<input type="checkbox"/> システム管理コマンド (System Management Command)	Setting	チェックボックスが有効の場合、HP の認定サービスエンジニアがカスタマーサービスの際にセキュリティ設定をリセットする事ができるようになります。BIOS のセキュリティをより高めたいお客様はチェックを外してこの機能を無効にしてください。 注記: この機能が無効に設定されている状態で BIOS パスワードを忘れてしまった場合、HP の認定サービスエンジニアはパスワードをリセットする事ができなくなります。 2014 Desktop: 2015 新機能	チェック有 (有効)	再起動が必要
Restore Security Settings to Default	Action	すべてのセキュリティ設定を工場出荷時状態に初期化します。 2014 ノート: セキュリティ -> 初期設定のセキュリティレベルの復元 2014 デスクトップ: 2015 新機能		再起動が必要

4.1 パスワードポリシーメニュー

このサブメニューでは管理者が BIOS 管理者パスワードと POST 電源投入時パスワードの条件に関するさまざまなルールを設定できるようにします。

表 10 パスワードポリシーメニューの機能

セキュリティ (Security) ->パスワードポリシー (Password Policies)				
機能	タイプ	説明	初期値	注記
パスワードの最小長 (Password Minimum Length)	Setting	パスワードに要求される最小文字数を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 最小: 4 最大: 32 2014 ノート:パスワードの長さの下限 2014 デスクトップ:2015 新機能	8	
<input type="checkbox"/> 管理者パスワードおよびユーザーパスワードには少なくとも 1 つの記号が必要です (At least one symbol required in Administrator and User passwords)	Setting	チェックボックスが有効の場合、パスワードに 1 つ以上下記のような記号を含める必要があります。 \$, %, ^, &, or # 2014 ノート: 記号を必ず含める 2014 Desktop: 2015 新機能	チェック無 (無効)	
<input type="checkbox"/> 管理者パスワードおよびユーザーパスワードには少なくとも 1 つの数字が必要です (At least one number required in Administrator and User passwords)	Setting	チェックボックスが有効の場合、パスワードに 1 つ以上数字を含める必要があります。 2014 ノート: 数字を必ず含める 2014 デスクトップ: 新機能	チェック無 (無効)	
<input type="checkbox"/> 管理者パスワードおよびユーザーパスワードには少なくとも 1 つの大文字が必要です (At least one upper-case character required in Administrator and User passwords)	Setting	チェックボックスが有効の場合、パスワードに 1 つ以上大文字を含める必要があります。 2014 ノート: 大文字を必ず含める 2014 デスクトップ: 新機能	チェック無 (無効)	
<input type="checkbox"/> 管理者パスワードおよびユーザーパスワードには少なくとも 1 つの小文字が必要です (At least one lower-case character required in Administrator and User passwords)	Setting	チェックボックスが有効の場合、パスワードに 1 つ以上小文字を含める必要があります。 2014 ノート: 小文字を必ず含める 2014 デスクトップ: 新機能	チェック無 (無効)	
<input type="checkbox"/> 管理者パスワードおよびユーザーパスワードに空白文字を許可しますか? (Are spaces allowed in password?)	Setting	チェックボックスが有効の場合、パスワードにスペースを含める事ができるようになります。 2014 ノート:パスワードに空白文字を許可しますか? デスクトップ: 2015 新機能	チェック無 (無効)	

<input type="checkbox"/> Prompt for Administrator password on F9 (Boot Menu)	Setting	チェックボックスが有効の場合、F9 ブートメニューに入るのに管理者パスワードが要求されます。	チェック無 (無効)	
<input type="checkbox"/> Prompt for Administrator password on F11 (System Recovery)	Setting	チェックボックスが有効の場合、F11 システムリカバリーメニューに入るのに管理者パスワードが要求されます。	チェック無 (無効)	
<input type="checkbox"/> Prompt for Administrator password on F12 (Network Boot)	Setting	チェックボックスが有効の場合、F12 ネットワークブートメニューに入るのに管理者パスワードが要求されます。	チェック無 (無効)	
パスワードジャンパーの消去 (Clear Password Jumper)	Setting	<p>デスクトップでは管理者パスワードと POST 電源投入時パスワードをクリアするジャンパーが利用できます。この機能を“無視”に設定すると誰かがジャンパーを使用してパスワードをクリアしてしまう事を防止できます。以下の設定が選択可能です。:</p> <ul style="list-style-type: none"> 承認 (Honor) 無視 (Ignore) <p>2014 デスクトップ: セキュリティ->パスワードオプション-> 厳重なパスワード</p>	承認	デスク トップ のみ

4.2 TPM 内蔵セキュリティ メニュー

このサブメニューでは Trusted Platform Module (TPM.) の各種設定を行います。TPM は安全な通信とソフトウェアとハードウェアの整合性のためにセキュリティ機能を提供するための専用のマイクロプロセッサです。TPM ハードウェアによるソリューションはソフトウェアのみのソリューションよりも安全です。

表 11 TPM 内蔵セキュリティメニューの機能

セキュリティ (Security) ->TPM 内蔵セキュリティ (TPM Embedded Security)				
機能	タイプ	説明	初期値	注記
TPM Activation Policy	Setting	<p>この設定では管理者は利便性とセキュリティの追加のどちらかを選択できます。セキュリティの追加ではシステムの利用者が TPM のアップグレードの際に F1 キーの入力を求める事でアップデートを確認する事 (F1 to Boot) または、TPM のアップグレードを拒否する事 (Allow user to reject) を選択できます。これらのようにユーザープロンプトを表示して物理的なユーザー入力を要求する事でリモートからのシステムへの攻撃の影響を制限する事ができます。セキュリティに関する要求が無い場合は 3 つ目の選択肢の (No prompts) を選択する事で TPM のアップグレードに対する利用者の関与が必要無くなります。多くのシステムをリモートから同時にアップグレードしたい場合には 3 つ目の選択肢 (No prompts) が最適です。</p> <p>以下の設定が選択可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • F1 to Boot • Allow user to reject • No prompts 	Allow user to reject	HP の推奨は物理的なユーザー入力を必要とする選択肢 (1 つ目または 2 つ目) です。
TPM 仕様のバージョン (TPM Specification Version)	Display Only	<p>現時点では Trusted Computing Group (TCG) によって定められている TPM 仕様のバージョンは 1.2 または 2.0 です。</p> <p>2014 ノート & デスクトップ: 2015 新機能</p>		
TPM デバイス (TPM Device)	Setting	<p>TPM を利用可能にします。以下の設定が選択可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 利用可能 (Available) • 非表示 (Hidden) <p>2014 デスクトップ: セキュリティ -> デバイスセキュリティ -> 内蔵セキュリティデバイス</p>	利用可能	再起動および、ユーザー入力が必要
<input type="checkbox"/> TPM の状態 (TPM State)	Setting	<p>チェックボックスが有効の場合、TPM を有効にします。(OS が TPM の所有権を取得できるようになります。)</p> <p>2014 ノート: セキュリティ -> TPM 内蔵セキュリティ -> 内蔵セキュリティデバイス状態</p> <p>2014 デスクトップ: セキュリティ -> システムセキュリティ -> 内蔵セキュリティデバイス</p>	チェック有 (有効)	再起動および、ユーザー入力が必要

TPM の消去 (Clear TPM)	Action	<p>次回ブート時 (On next boot) が選択されている場合、次回起動時に TPM が初期化されます。TPM が初期化された後は番号 (No) に再設定されます。以下の設定が選択可能です。</p> <ul style="list-style-type: none">• 番号 (No)• 次回ブート時 (On next boot) <p>2014 ノート: セキュリティ -> TPM 内蔵セキュリティ -> 工場出荷時設定</p> <p>2014 デスクトップ: セキュリティ -> システムセキュリティ -> 内蔵セキュリティデバイス -> 工場出荷時設定に戻します。</p>	番号	再起動が必要
------------------------	--------	---	----	--------

4.3 BIOS Sure Start メニュー

HP Sure Start の動作を設定します。HP Sure Start は内蔵のハードウェアセキュリティシステムで、HP に承認された内蔵コントローラーファームウェアや BIOS のみが動作する事ができるようにします。

表 12 BIOS Sure Start メニューの機能

セキュリティ (Security) -> BIOS SureStart				
機能	タイプ	説明	初期値	注記
<input type="checkbox"/> Verify Boot Block on Every Boot	Setting	<p>チェックボックスが無効の場合、HP Sure Start®はフラッシュメモリ内の HP ファームウェアの整合性確認を以下の時に実施します。</p> <p>スリープ、ハイバーネーションからの復旧、電源 OFF 状態からの起動。</p> <p>チェックボックスが有効の場合、HP Sure Start®はフラッシュメモリ内の HP ファームウェアの整合性確認を以下の時に実施します。</p> <p>スリープ、ハイバーネーションからの復旧、電源 OFF 状態からの起動、OS の再起動。この設定によりセキュリティが向上しますが、OS の再起動に要する時間が増えます。</p> <p>2014 デスクトップ: 2015 新機能</p>	チェック無 (無効)	再起動が必要
BIOS Data Recovery Policy	Setting	<p>以下の設定が選択可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> Automatic Manual <p>Automatic (自動): HP SureStart はフラッシュメモリ内の HP ファームウェアに整合性の問題が発生した場合に自動的に修復します。</p> <p>Manual (手動): HP SureStart はフラッシュメモリ内の HP ファームウェアに整合性の問題が発生した場合に Windows + ↑ (上矢印) + ↓ (下矢印) キーが押されるまでは修復しません。</p> <p>注記: Manual (手動) リカバリーは、HP Sure Start が問題を修正する前にシステム管理者が原因調査するために使用する事を意図しています。一般の利用者にはこの設定はお勧めしません。</p> <p>2014 デスクトップ: 2015 新機能</p>	Automatic	再起動が必要
<u>Network Controller</u> Configuration Restore	Action	<p>HP Sure Start – Network Controller Configuration Restore ネットワークコントローラのパラメータを工場出荷時の状態に復元します。</p> <p>注記: このプロセスには 30 秒程度かかる事があります。ネットワークコントローラの設定の不一致の警告が設定されている場合のみこれを復元する必要があります。</p> <p>2014 ノート: セキュリティ -> Sure Start -> Restore Network Controller Configuration to factory defaults</p> <p>2014 デスクトップ: 2015 新機能</p>		再起動が必要
<input type="checkbox"/> Prompt on Network Controller Configuration Change	Setting	<p>チェックボックスが有効の場合、HP Sure Start はネットワークコントローラ設定をモニタして工場出荷時設定からの変更が検出された場合に利用者に通知します。通知が表示された際に利用者は通知を無視するかまたはネットワークコントローラを工場出荷時設定に戻す事を選択できます。</p> <p>2014 ノート & デスクトップ: 2015 新機能</p>	Checked	Intel のみ 再起動およびユーザー入力が必要

<input type="checkbox"/> Dynamic Runtime Scanning of Boot Block	Setting	<p>チェックボックスが有効の場合、HP Sure Start[®]はオペレーティングシステムが稼働している間、15 分おきにフラッシュメモリ内の HP ファームウェアの整合性を確認します。</p> <p>2014 デスクトップ: 2015 新機能</p>	チェック有 (有効)	
---	---------	---	------------	--

4.4 スマートカバー メニュー (デスクトップのみ)

このサブメニューではカバーロックとカバーセンサーの設定を行います。

表 13 スマートカバー メニューの機能

セキュリティ (Security) -> スマートカバー (Smart Cover)				
機能	タイプ	説明	初期値	注記
カバー ロック	Setting	<p>スマートカバーはソフトウェア制御のカバーロックです。この機能により PC の内部コンポーネントへの不正なアクセスを防止する事ができます。以下の設定が選択可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ロック有効 (Lock) • ロック無効 (Unlock) 	ロック無効	カバーロックの付いているデスクトップのみ
カバーの 取り外し センサー	Setting	<p>カバーの取り外しセンサーについて以下の設定が可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 (Disabled) • ユーザーに通知 (Notify the User) : (個人が自分のデスクトップを管理する際に使用します。) • 管理者パスワード (Administrator Password) : (管理者パスワードの入力なしでのデスクトップの使用をブロックする事により、カバーの取り外しをデスクトップ管理者に警告するために使用します。この設定は管理者パスワードが設定されていない場合は表示されません。) 	無効	カバーセンサーの付いているデスクトップのみ

4.5 ハードドライブユーティリティメニュー

このサブメニューではハードドライブ内のデータの保護に関する次の機能を提供します。MBR（マスターブートレコード）の保存と復元、ハードドライブへの不正なアクセスやデータ消去の防止。

表 14 ハードドライブユーティリティメニューの機能

セキュリティ (Security) ->ハードドライブユーティリティ (Hard Drive Utilities)				
機能	タイプ	説明	初期値	注記
<input type="checkbox"/> システムのハードドライブの MBR の保存/復元 (Save/Restore MBR of the system hard drive)	Setting	<p>チェックが有効の場合、システムのハードドライブの MBR（マスターブートレコード）が保存されます。MBR が変更された場合、ユーザーは MBR の復元を認証するように求められます。</p> <p>注記: UEFI ブートモードの場合は適用されません。</p> <p>2014 ノート: セキュリティ->ハードドライブツール->システムのハードドライブの MBR の保存/復元</p> <p>2014 デスクトップ: セキュリティ->マスターブートレコードセキュリティ</p>	チェック無 (無効)	再起動が必要
<u>DriveLock</u> ドライブの選択 (Select a Drive...)	Menu	<p>ドライブロック (DriveLock) は選択したハードドライブへの不正なアクセスを防止します。ハードドライブにアクセスするには password の入力が必要になります。また、ドライブはドライブロックが設定されている PC に接続されている場合にのみアクセスする事ができます。</p> <p>注記: ドライブロック (DriveLock) の状態をシステムの再起動の後に変更する事はできません。一旦システムの電源をオフにしてから再度電源をオンにして直接 F10 セットアップメニューを起動する必要があります。</p> <p>2014 ノート: セキュリティ->ハードドライブツール->DriveLock</p> <p>2014 デスクトップ: セキュリティ->DriveLock Security</p>		
<u>セキュリティ保護された消去 (Secure Erase)</u> Select a Drive...)	Action	<p>ハードウェアベースの方法を使用して、選択したハードドライブからすべてのデータを安全に削除します。</p> <p>2014 ノート: セキュリティ->ハードドライブツール->セキュリティ保護された消去</p> <p>2014 デスクトップ: 2015 新機能</p>		再起動が必要

4.6 DriveLock メニュー

ドライブロック (DriveLock) は選択したハードドライブへの不正なアクセスを防止します。ハードドライブにアクセスするにはパスワードの入力が必要になります。また、ドライブはドライブロックが設定されている PC に接続されている場合にのみアクセスする事ができます。

注記: ドライブロック (DriveLock) の状態をシステムの再起動の後に変更する事はできません。一旦システムの電源をオフにしてから再度電源をオンにして直接 F10 セットアップメニューを起動する必要があります。

表 15 DriveLock メニューの機能

セキュリティ (Security) ->ハードドライブユーティリティ (Hard Drive Utilities) ->DriveLock				
機能	タイプ	説明	初期値	注記
DriveLock のマスターパスワードの設定 (Set DriveLock Master Password)	Setting	ドライブロックによる保護のために使用するパスワードを設定します。このパスワードはハードドライブへのアクセスやドライブロックを無効にする際に要求されます。 2014 ノート:セキュリティ-> ハードドライブツール-> DriveLock-> DriveLockパスワード 2014 デスクトップ:セキュリティ-> ドライブロック セキュリティ-> マスターパスワードの設定		再起動が必要
DriveLock の有効化 (Enable DriveLock)	Setting	DriveLock による保護を有効にし、ハードドライブへのアクセスを許可するマスターパスワードとは別のユーザーのパスワードを作成します。 2014 ノート: セキュリティ ->ハードドライブツール-> DriveLock-> 再起動時の DriveLock パスワード 2014 デスクトップ:セキュリティ-> ドライブロック セキュリティ-> ドライブロックの有効/無効	無効	再起動が必要
Automatic DriveLock	Setting	BIOS がドライブロックを解除する前にユーザー認証が必要になるようにします。ユーザーには BIOS ユーザー (F10 セットアップで管理される) または HP Client Security のユーザー (OS で管理される) が使用可能です。 認証後、BIOS は自動的にドライブロックパスワードを提供します。 この機能のためには BIOS 管理者パスワードが必要です。また、それがドライブロックマスターパスワードとして設定されている必要があります。 2014 ノート:セキュリティ-> ハードドライブツール-> 自動 DriveLock 2014 デスクトップ:2015 新機能	Disabled	Reboot Required

5 詳細設定 メニュー

メイン (Main)	セキュリティ (Security)	詳細設定 (Advanced)	UEFI ドライバー (UEFI Drivers)	
---------------	----------------------	--------------------	------------------------------	---

HP Computer Setup

- ⇒ 表示言語 (Display Language)
- ⇒ スケジュールされた電源投入 (Scheduled Power-On)
- ⇒ ブートオプション (Boot Options)
- ⇒ セキュアブートの構成 (Secure Boot Configuration)
- ⇒ システム オプション (System Options)
- ⇒ 内蔵デバイス オプション (Built-In Device Options)
- ⇒ ポートオプション (Port Options)
- ⇒ オプション ROM の起動ポリシー (Option ROM Launch Policy)
- ⇒ 電源管理オプション (Power Management Options)
- ⇒ Remote Management Options (Intel のみ)
- ⇒ 電子ラベル (Electronic Labels) (ノート のみ)

5.1 詳細設定メニュー

詳細設定 メニューでは以下の表に記載されている機能が設定可能です。

表 16 詳細設定 メニューの機能

詳細設定 (Advanced)				
機能	タイプ	説明	初期値	注記
表示言語 (Display Language)	Menu	<p>BIOS 設定メニューの表示言語とキーボードの言語を選択します。以下の 14 言語から選択可能です。</p> <p>English, French, German, Spanish, Italian, Dutch, Danish, Japanese, Norwegian, Portuguese, Swedish, Finnish, Chinese Traditional, Chinese Simplified.</p> <p>注記: BIOS 設定メニューにのみ影響し、OS や WMI コマンドには影響しません。</p> <p>2014 ノート & デスクトップ: キーボードの言語選択のみ 2015 新機能.</p> <p>2014 デスクトップ: 2015 新規言語: Simplified Chinese , Traditional Chinese</p>		
スケジュー ルされた電 源投入 (Scheduled Power On)	Menu	<p>システムの電源投入する曜日と時刻 (時、分) を選択します。この機能は電源オフ状態のシステムを起動します。.</p> <p>2014 ノード & デスクトップ: カスタム -> BIOS 電源投入</p>		
ブート オプシ ョン (Boot Options)	Menu	<p>システムのブートアップ中の動作を制御するための設定をします。</p> <p>2014 ノート: セキュアブートの構成が別のメニューになりました。</p> <p>2014 デスクトップ: ストレージ -> 起動順序、セキュリティ -> ネットワーク ブート、カスタム -> 電源投入時オプション。</p>		
セキュアブ ートの構成 (Secure Boot Configurations)	Menu	<p>Windows 8 以降の機能であるセキュア ブートは攻撃やマルウェアからの感染への耐性を高める UEFI の機能です。工場出荷時の状態で、信頼するハードウェア、ファームウェア、オペレーティングシステム ロードー コードを識別するためのキーの一覧がシステムに含まれています。また、既知のマルウェアを識別するためのキーの一覧も含まれています。</p> <p>2014 ノート: 詳細設定 -> ブートオプション</p> <p>2014 デスクトップ: セキュリティ -> セキュアブートの構成</p>		
システム オプション (System Options)	Menu	<p>CPU、PCI、PCIe、電源ボタン、ファンクションキーなどを制御するための設定をします。</p> <p>2014 ノート: 2015 新機能</p> <p>2014 デスクトップ: セキュリティ -> スロットセキュリティ、カスタム -> バス オプション、カスタム -> デバイス オプション</p>		
内蔵デバイ スオプション (Built in Device Options)	Menu	<p>PC に内蔵されたデバイスを制御するための設定をします。</p> <p>2014 デスクトップ: カスタム -> 電源投入時オプション、カスタム -> デバイス オプション、カスタム -> VGA コンフィギュレーション、電源 -> 温度とセキュリティ -> ネットワーク ブート</p>		

ポート オプション (Port Options)	Menu	システム上のポートの有効/無効や制限のための設定をします。 2014 デスクトップ: カスタム -> オンボードデバイス、カスタム -> デバイス オプション、セキュリティ -> デバイス セキュリティ、セキュリティ -> USB セキュリティ		
オプション ROM の起動ポリシー (Option ROM Launch Policy)	Menu	起動時に読み込むデバイス オプション ROM を設定します。 2014 ノート: 2015 新機能		
Power Management Options	Menu	システムが省電力モードの際の動作を設定します。 2014 ノート: 2015 新機能 2014 デスクトップ: 電源 -> OS 電源管理、電源 -> ハードウェア電源管理		
Remote Management Options	Menu	システムのリモート管理のためのインテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーを制御するための設定を行います。 2014 ノート: 詳細設定 -> AMT オプション 2014 デスクトップ: カスタム -> 管理オプション		Intel のみ
電子ラベル (Electronic Labels)	Display Only	技適マークなど必須の認定ラベルを確認できます。 2014 ノート: 2015 新機能		ノートのみ

5.2 表示言語 メニュー

このサブメニューでは表示言語とキーボード レイアウトを以下の言語から選択できます。

- English • Italiano • Português • Nederlands • 简体中文
- Deutsch • Français • Danske • Norsk • 繁體中文
- Español • 日本語 • Svenska • Suomi

NOTE: この設定は BIOS メニューにのみ影響し、OS や WMI コマンドには影響しません。

表 17 表示言語 メニューの機能

詳細設定 (Advanced) -> 表示言語 (Display Language)				
機能	タイプ	説明	詳細	注記
言語の選択 (Select Language)	Setting	BIOS セットアップメニューで使用する言語を選択します。 2014 ノート: 詳細設定 -> 言語 2014 デスクトップ: F8 キー	English	
キーボードレイアウトの選択 (Select Keyboard Layout)	Setting	BIOS セットアップメニューで使用するキーボードレイアウトの言語を選択します。 2014 ノート & デスクトップ: 2015 新機能	English	

5.3 スケジュールされた電源投入メニュー

このサブメニューでは電源オフ状態のシステムに対して自動的に電源投入する曜日と時刻を設定します。

表 18 スケジュールされた電源投入メニューの機能

詳細設定 (Advanced) -> スケジュールされた電源投入 (Scheduled Power On)				
機能	タイプ	説明	初期値	注記
<input type="checkbox"/> 日曜日 (Sunday) <input type="checkbox"/> 月曜日 (Monday) <input type="checkbox"/> 火曜日 (Tuesday) <input type="checkbox"/> 水曜日 (Wednesday) <input type="checkbox"/> 木曜日 (Thursday) <input type="checkbox"/> 金曜日 (Friday) <input type="checkbox"/> 土曜日 (Saturday)	Setting	曜日を選択します。 2014 ノート & デスクトップ: 詳細設定 (カスタム) -> BIOS 電源投入		再起動が必要
時 (Hour)	Setting	時間を選択します。0-23 2014 ノート & デスクトップ: 詳細設定 (カスタム) -> BIOS 電源投入 -> 時	0	再起動が必要
分 (Minute)	Setting	分を選択します。0-59 2014 ノート & デスクトップ: 詳細設定 (カスタム) -> BIOS 電源投入 -> 分	0	再起動が必要

5.4 ブートオプションメニュー

このサブメニューではシステムのブートアップ中の動作を制御するための設定をします。

表 19 ブートオプションメニューの機能

詳細設定 (Advanced) -> ブートオプション (Boot Options)				
機能	タイプ	説明	初期値	注記
スタートアップメニュー遅延 (秒) (Startup Menu Delay)	Setting	OS の起動開始を一時停止する時間を秒単位(0-60)で設定します。遅延を大きくすれば BIOS メニューを表示するためのキー入力のための猶予時間が増えます。 2014 デスクトップ: カスタム -> 電源投入オプション -> POST 遅延時間	0	

<input type="checkbox"/> 高速起動 (Fast Boot)	Setting	<p>チェックが有効の場合、USB、CD-ROM、PXE などのブートをバイパスする事で起動時間を短縮します。</p> <p>注記: POST 電源投入時パスワードが設定されている場合、他のセキュリティ機能が設定されている場合、起動順序が初期状態から変更されている場合には高速起動は無視されます。</p> <p>2014 デスクトップ: セキュリティ->セキュアブートの構成->高速起動</p>	チェック無 (無効)	
<input type="checkbox"/> CD-ROM ブート (CD-ROM Boot)	Setting	<p>チェックが有効の場合、システムが CD-ROM (光学ドライブ) から起動する事を許可します。</p> <p>2014 デスクトップ: 2015 新機能: ストレージ->ストレージ オプション->リムーバブル メディア ブート.</p>	チェック有 (有効)	
<input type="checkbox"/> USB ストレ ージブート (USB Storage Boot)	Setting	<p>チェックが有効の場合、システムが USB ストレージから起動する事を許可します。</p> <p>2014 ノート: 詳細設定->ブート オプション->USB デバイスブート</p> <p>2014 デスクトップ: 2015 新機能: ストレージ->ストレージ オプション->リムーバブル メディア ブート.</p>	チェック有 (有効)	
<input type="checkbox"/> ネットワー ク (PXE) ブ ート (Network PXE Boot)	Setting	<p>チェックが有効の場合、システムがネットワークから起動する事を許可します。</p> <p>2014 ノート: 詳細設定->ブート オプション->PXE 内蔵 NIC ブート</p> <p>2014 デスクトップ: セキュリティ->ネットワーク ブート</p>	チェック有 (有効)	
停電後 (After Power Loss)	Setting	<p>停電から復旧した後の電源状態を選択します。以下の設定が選択可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源の切断 (Power Off) ● 電源の投入 (Power On) ● 前の状態 (Previous State) <p>2014 デスクトップ: カスタム->電源投入時オプション->電源コード抜き差し後の電源状態</p>	電源の切断	デスクトップのみ
<input type="checkbox"/> 外部電 源が検出さ れたときに 電源をオン にする (Power On When AC Detected)	Setting	<p>チェックが有効の場合、ノート PC の AC 電源が電源供給なしの状態から利用可能な状態になった時に、電源オンになります。</p> <p>2014 ノート: 詳細設定->デバイス構成->外部電源が検出されたときに電源をオンにする</p>	チェック無 (無効)	ノートのみ

<input type="checkbox"/> ディスプレイを開いたときに電源をオンにする (Power On When Lid is Open)	Setting	チェックが有効の場合、ノート PC のディスプレイを開いたときに電源がオンになります。 2014 ノート: 詳細設定 -> 内蔵デバイス オプション -> ディスプレイを開いたときに電源をオンにする	チェック無 (無効)	ノートのみ
<input type="checkbox"/> バッテリーエラーの通知を表示する (Prompt on Battery Errors)	Setting	チェックが有効の場合、システムの起動中にバッテリーエラーの警告を表示ようになります。 2014 ノート: 2015 新機能	チェック有 (有効)	ノートのみ
<input type="checkbox"/> サンダーボルトブート (Thunderbolt Boot)	Setting	チェックが有効の場合、サンダーボルトインターフェースに接続されたデバイスから起動する事を許可します。 2014 ノート & デスクトップ: 2015 新機能	チェック無 (無効)	サンダーボルト対応のシステムのみ
<input type="checkbox"/> Audio Alerts during boot	Setting	チェックが有効の場合、POST の間にエラーをビープ音で通知します。 2014 デスクトップ: 新機能	チェック有 (有効)	
<input type="checkbox"/> メモリサイズの変更時に通知を表示する (Prompt on Memory Size Change)	Setting	チェックが有効の場合、システムの起動中にメモリサイズの変更が検出された場合にユーザー通知を表示ようになります。 2014 ノート: 2015 新機能 2014 デスクトップ: 2015 新機能. 2014 モデルでの近い機能としては、以下の設定で、メモリサイズの変更を含むすべての変更通知を無効になります。 カスタム -> POST 電源投入時オプション -> 設定変更時に F1 プロンプトを省略	チェック有 (有効)	
<input type="checkbox"/> 固定ストレージの変更時に通知を表示する (Prompt on Fixed Storage Change)	Setting	チェックが有効の場合、システムの起動中に固定ストレージの変更が検出された場合にユーザー通知を表示ようになります。 2014 ノート: 2015 新機能 2014 デスクトップ: 2015 新機能 2014 モデルでの近い機能としては、以下の設定で、固定ストレージの変更を含むすべての変更通知を無効になります。 カスタム -> POST 電源投入時オプション -> 設定変更時に F1 プロンプトを省略	チェック無 (無効)	

<input type="checkbox"/> レガシー ブート順序 (Legacy Boot Order)	Setting	<p>チェックが有効の場合、システムが非 UEFI デバイスから起動する事を許可します。</p> <p>2014 ノート: 2015 新機能</p> <p>2014 デスクトップ: ストレージ-> 起動順序-> レガシーブートソース-> F5 key</p> <p>詳細設定 ->セキュアブートの構成->レガシーサポートおよびセキュアブートの構成に“レガシーサポートの有効化およびセキュアブートの無効化。”が選択されている必要があります。</p> <p>レガシーブートが無効の場合、UEFI デバイスのみが起動可能となるため、UEFI ブート順序とレガシーブート順序のチェックボックスはグレイアウトされて機能しません。</p> <p>UEFI ブート順序が有効の場合、システムは非 UEFI デバイスより先に UEFI デバイスから起動する事を試みます。</p> <p>非 UEFI デバイスの起動順序を変更する事ができます。初期状態では以下のデバイスの種類の順に起動します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. USB 2. SATA DVD (Desktop Only) 3. SATA Hard Drives 4. M.2 devices 5. Network 	チェック有 (有効)	
--	---------	---	---------------	--

5.5 セキュア ブートの構成メニュー

セキュアブートを構成するためのサブメニューです。Windows 8 以降の機能であるセキュアブートは攻撃やマルウェアからの感染への耐性を高める UEFI の機能です。工場出荷時の状態で、信頼するハードウェア、ファームウェア、オペレーティングシステム ロードー コードを識別するためのキーの一覧がシステムに含まれています。また、既知のマルウェアを識別するためのキーの一覧も含まれています。

表 20 セキュアブートの構成メニューの機能

詳細設定 (Advanced) ->セキュアブートの構成 (Secure Boot Configurations)				
機能	タイプ	説明	初期値	注記
レガシーサポートおよびセキュアブートの構成 (Configure Legacy Support and Secure Boot)	Setting	<p>レガシーサポートを有効にする事で非 UEFI デバイスから起動できるようになります。UEFI デバイスのみがセキュアブートをサポートします。以下の設定が選択可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> レガシーサポートの有効化およびセキュアブートの無効化 (Legacy Support Enable and Secure Boot Disable) レガシーサポートの無効化およびセキュアブートの有効化 (Legacy Support Disable and Secure Boot Enable) レガシーサポートの無効化およびセキュアブートの無効化 (Legacy Support Disable and Secure Boot Disable) <p>2014 ノート: 詳細設定 -> ブート オプション -> ブート モード</p> <ul style="list-style-type: none"> レガシー UEFI ハイブリッド (CSM あり) UEFI ネイティブ (CSM なし) <p>2014 デスクトップ: セキュリティ -> セキュアブートの構成 -> レガシーサポート</p> <p>-> セキュアブート</p>	<p>Windows 7 プリインストールモデル</p> <p>レガシーサポートの有効化およびセキュアブートの無効化</p> <p>Windows 8/8.1/10 プリインストールモデル</p> <p>レガシーサポートの無効化およびセキュアブートの有効化</p>	
<input type="checkbox"/> セキュアブートキーのクリア	One Time Action	<p>チェックが有効の場合、設定を保存して BIOS セットアップ画面を抜けるとセキュアブートキーをクリアします。その後このチェックは外れて無効に戻ります。このアクションはレガシーサポートが有効の場合やセキュアブートキーがクリアされて無い場合には利用できません。 .</p> <p>2014 ノート: 詳細設定 -> ブート オプション -> セキュアブートキーのクリア</p> <p>2014 デスクトップ: セキュリティ -> セキュアブートの構成 -> セキュアブートキーのクリア</p> <p>-> キーの所有者: HP キー</p>	チェック無 (無効)	

<input type="checkbox"/> セキュアブート キーを工場出荷時 の状態に戻します	One Time Action	チェックが有効の場合、設定を保存して BIOS セットア ップ画面を抜けるとセキュアブートキーを一度工場出 荷時の状態に戻します。その後このチェックは外れて 無効に戻ります。 2014 ノート: 詳細設定->ブートオプション->ユーザーモ ード->HP ファクトリーキー	チェック無 (無効)	
<input type="checkbox"/> Enable MS UEFI CA key	Setting	チェックが有効の場合、セキュアブートが Microsoft (MS) UEFI 認証機関 (CA) キーを信頼します。 注記: Windows 10 のデバイスガードを使用する場合 はチェックを外します。 2014 ノート&デスクトップ: 2015 新機能	Checked	

5.6 システム オプション メニュー

表 21 システム オプション メニューの機能

詳細設定 (Advanced) -> システム オプション (System Options)				
機能	タイプ	説明	初期値	注記
<input type="checkbox"/> RAID 用ストレージコントローラの構成 (Configure Storage Controller for RAID)	Setting	<p>チェックが有効の場合、SATA コントローラが RAID モードに構成されます。</p> <p>2014 デスクトップ: ストレージ -> ストレージ オプション -> SATA エミュレーション</p>	チェック無 (無効)	デスクトップのみ
PCIe GEN Support Speed	Setting	<p>PCI Express デバイスの最大速度を以前の世代のものに制約する事ができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動 (Auto) Gen 1 Gen 2 Gen 3 <p>2014 ノート & デスクトップ: 2015 新機能</p>	自動	
<input type="checkbox"/> RAID 構成のポストプロンプト (POST Prompt for RAID Configuration)	Setting	<p>チェックが有効の場合、RAID Configuration Utility のためのプロンプトを表示します。</p> <p>2014 デスクトップ: ストレージ -> ストレージ オプション -> Ctrl-I Suppression</p>	チェック有 (有効)	デスクトップのみ
<input type="checkbox"/> Turbo Boost	Setting	<p>チェックが有効の場合、実行条件が満たされた時に Intel® ターボブーストテクノロジーが有効になりパフォーマンスを改善します。</p> <p>2014 ノート: 2015 新機能</p> <p>2024 デスクトップ: カスタム -> デバイス オプション -> ターボ モード</p>	チェック有 (有効)	Intel のみ
<input type="checkbox"/> ハイパースレッディング (Hyper-threading (Intel® HT))	Setting	<p>チェックが有効の場合、Intel プロセッサのハイパースレッディングが有効になります。</p> <p>Intel HT テクノロジー (HT) はマルチスレッドのソフトウェア製品のパフォーマンスを改善するように設計されています。コンピューターシステムのプロセッサ、チップセット、BIOS および OS が HT をサポートしている必要があります。お使いのソフトウェアが HT に対応しているかどうかはソフトウェアの供給元にご確認ください。</p> <p>詳細は下記 URL の情報をご参照ください。 http://www.intel.com/info/hyperthreading</p> <p>2014 ノート: 詳細設定 -> デバイス 構成 -> Intel® HT Technology</p> <p>2014 デスクトップ: カスタム -> デバイス オプション -> ハイパースレッディング (Intel® HT)</p>	チェック有 (有効)	ハイパースレッディング対応の Intel CPU (Core i7) のみ

<input type="checkbox"/> Multi-processor	Setting	<p>チェックが有効の場合、BIOS が OS に対してマルチコアプロセッサを認識させる事ができるようになります。</p> <p>2014 ノート: 詳細設定 -> デバイス構成 -> マルチコア CPU</p> <p>2014 デスクトップ: カスタム -> デバイス オプション -> マルチプロセッサ</p>	チェック有 (有効)	
<input type="checkbox"/> Virtualization Technology (VTx)	Setting	<p>チェックが有効の場合、Intel ベースのシステムで仮想化テクノロジー (VT) が有効になります。</p> <p>2014 ノート: 詳細設定 -> デバイス 構成 -> Virtualization Technology (VTx)</p> <p>2014 デスクトップ: セキュリティ -> システムセキュリティ -> Virtualization Technology (VTx)</p>	チェック無 (無効)	Intel のみ
<input type="checkbox"/> Virtualization Technology for Directed I/O (VTd)	Setting	<p>チェックが有効の場合、Intel ベースのシステムで仮想マシンが周辺装置に直接アクセスする事が許可されます。</p> <p>2014 ノート: 詳細設定 -> デバイス 構成 -> Virtualization Technology for Directed I/O (VTd)</p> <p>2014 デスクトップ: セキュリティ -> システムセキュリティ -> Virtualization Technology for Directed I/O (VTd)</p>	チェック無 (無効)	Intel のみ
<input type="checkbox"/> SVM CPU Virtualization	Setting	<p>チェックが有効の場合、AMD ベースのシステムで仮想化テクノロジーが有効になります。</p> <p>2014 ノート: 2015 新機能</p> <p>2014 デスクトップ: セキュリティ -> システムセキュリティ -> SVM CPU Virtualization</p>	チェック無 (無効)	AMD のみ
<input type="checkbox"/> Swap Fn and Ctrl (Keys)	Setting	<p>チェックが有効の場合、ファンクション (Fn) キーとコントロール (Ctrl) キーの機能が入れ替わります。</p> <p>2014 ノート: 詳細 -> デバイス 構成 -> Fn キー切り替え</p>	チェック無 (無効)	ノートのみ
<input type="checkbox"/> Enable Turbo Boost on DC	Setting	<p>チェックが有効の場合、Intel® ターボブーストテクノロジーは電源アダプターが接続されていない状態でも有効になります。</p> <p>2014 ノート: 詳細設定 -> デバイス 構成 -> Enable Turbo Boost on DC</p>	チェック無 (無効)	Intel ノートのみ
<input type="checkbox"/> PCI Express x16 Slot 1	Setting	<p>チェックが有効の場合、PCI Express x16 スロットが利用可能になります。</p> <p>2014 デスクトップ: セキュリティ -> スロットセキュリティ</p>	チェック有 (有効)	デスクトップのみ
<input type="checkbox"/> PCI Express x1 Slot 1	Setting	<p>チェックが有効の場合、PCI Express x1 スロット 1 が利用可能になります。</p> <p>2014 デスクトップ: セキュリティ -> スロットセキュリティ</p>	チェック有 (有効)	デスクトップのみ

<input type="checkbox"/> PCI Express x1 Slot 2	Setting	<p>チェックが有効の場合、PCI Express x1 スロット 2 が利用可能になります。</p> <p>2014 デスクトップ: セキュリティ -> スロットセキュリティ</p>	チェック有 (有効)	デスクトップのみ
<input type="checkbox"/> PCI Express x4 Slot 1	Setting	<p>チェックが有効の場合、PCI Express x4 スロット 1 が利用可能になります。</p> <p>2014 デスクトップ: セキュリティ -> スロットセキュリティ</p>	チェック有 (有効)	デスクトップのみ
<input type="checkbox"/> PCIe/PCI SERR# 割り込みの許可 (Allow PCIe/PCI SERR# Interrupt)	Setting	<p>チェックが有効の場合、PCI デバイスが PCI の仕様で定義されている SERR# (システムエラー) を生成することが許可されます。</p> <p>2014 Desktop: Advanced -> Bus Options -> PCI SERR# Generation</p>	チェック有 (有効)	デスクトップのみ
電源ボタンのオーバーライド (Power Button Override)	Setting	<p>デスクトップ PC の電源ボタンの長押しで電源を切る際に要求される時間を設定します。電源ボタンのオーバーライドの動作はオペレーティングシステムで定義されます。以下の設定が選択可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 (Disable) • 4 秒 (4 sec) • 15 秒 (15 sec) <p>2014 デスクトップ: 2015 新機能</p>	4 秒 c	デスクトップのみ

5.7 内蔵デバイス オプション メニュー

このサブメニューではシステムに内蔵されたデバイスの設定を行います。

表 22 内蔵デバイス オプション メニューの機能

詳細設定 (Advanced) ->内蔵デバイス オプション (Built-in Device Options)				
機能	タイプ	説明	初期値	注記
<input type="checkbox"/> 内蔵 LAN コントローラー (Embedded LAN Controller)	Setting	チェックが有効の場合、内蔵のネットワークインターフェースコントローラー (NIC) デバイスが有効になります。 2014 デスクトップ: セキュリティ->デバイスセキュリティ->ネットワーク コントローラー	チェック有 (有効)	
ウェイク オン LAN (Wake on LAN)	Setting	システムがネットワーク (LAN) から起動する事を許可します。以下の設定が選択可能です。 <ul style="list-style-type: none"> 無効 (Disabled) ネットワークからのブート (Boot to Network) ハードドライブからのブート (Boot to Hard Drive) 2014 デスクトップ: 2015 新機能	ネットワークからのブート	
<input type="checkbox"/> Dust Filter	Setting	チェックが有効の場合、ダストフィルターの交換のための通知が有効になります。次の機能で設定した期間が経過するとユーザー通知が表示されるようになります。 2014 デスクトップ: 2015 新機能	チェック無 (無効)	デスクトップのみ
Dust Filter Reminder (Days)		ダストフィルター交換通知の間隔 (日) を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 15 30 60 90 120 180 2014 デスクトップ: 2015 新機能	60	デスクトップのみ
<input type="checkbox"/> 内蔵ビデオ (Integrated Video)	Setting	チェックが有効の場合、内蔵ビデオデバイスが有効になります。内蔵ビデオを使用していない場合は無効にする事でシステムメモリの消費を抑える事ができます。 2014 デスクトップ: 2015 新機能	チェック有 (有効)	追加のグラフィックスカードを搭載したデスクトップのみ
VGA ブート デバイス (VGA Boot Device)		起動時にファームウェアは 1 つのグラフィックデバイスのみを使用する事ができます。そのためグラフィックスカードが追加されている場合には、この機能を使用してシステムの起動中に優先 VGA デバイスとして使用するグラフィックスを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 内蔵グラフィックス (The integrated graphics) 追加のグラフィックスカード (Add-in graphics card) 2014 デスクトップ: 2015 新機能	追加のグラフィックスカードがプライマリとして設定	追加のグラフィックスカードを搭載したデスクトップのみ

ビデオメモリサイズ (Video Memory Size)	Setting	<p>システムメモリの中からビデオメモリとして使用するサイズを予約します。以下の設定が選択可能です。</p> <p>Intel:</p> <ul style="list-style-type: none"> 32 MB 64 MB 128 MB 256 MB 512 MB <p>AMD:</p> <ul style="list-style-type: none"> 128 MB 256 MB 512 MB 自動 (Auto) <p>2014 ノート: 詳細設定->デバイス構成->ビデオメモリサイズ</p> <p>2014 デスクトップ: 2015 新機能</p>	Intel: 32 MB AMD: 自動	
グラフィックス (Graphics)	Setting	<p>グラフィックスカードの設定をします。以下の設定が選択可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ハイブリッドグラフィックス (Hybrid Graphics) UMA グラフィックス (UMA Graphics) <p>2014 ノート: 2015 新機能</p>	ハイブリッドグラフィックス	追加のグラフィックスカードを搭載したノートのみ
<input type="checkbox"/> オーディオデバイス (Audio Device)	Setting	<p>内蔵マイク、内蔵スピーカー、ヘッドフォン出力の有効/無効を設定します。</p> <p>チェックが有効の場合、オペレーティングシステムから各オーディオデバイスを制御する事ができます。</p> <p>チェックが無効の場合、全てのオーディオデバイスはオペレーティングシステム上に表示されなくなります。以下の各機能のオーディオデバイス設定はグレイアウトされて設定する事ができなくなります。</p> <p>2014 デスクトップ: セキュリティ->デバイスセキュリティ->システムオーディオ</p>	チェック有 (有効)	
<input type="checkbox"/> 内蔵マイク (Integrated Microphone)	Setting	<p>チェックが有効の場合、内蔵マイクが有効になります。</p> <p>2014 デスクトップ: 2015 新機能</p> <p>最も近い機能はセキュリティ->デバイスセキュリティ->システムオーディオ</p>	チェック有 (有効)	ノート Only

<input type="checkbox"/> 内蔵スピーカー (Internal Speakers)	Setting	<p>チェックが有効の場合、内蔵スピーカーが有効になります。</p> <p>2014 ノート: 2015 新機能</p> <p>最も近い機能は 詳細設定-> 内蔵デバイスオプション-> スピーカーとヘッドフォン</p> <p>2014 デスクトップ: 2015 新機能</p> <p>最も近い機能は セキュリティ-> デバイスセキュリティ-> システム オーディオ</p>	チェック有 (有効)	
<input type="checkbox"/> ヘッドフォン出力 (Headphone Output)	Setting	<p>チェックが有効の場合、ヘッドフォンジャックが有効になります。</p> <p>2014 ノート: 2015 新機能</p> <p>最も近い機能は 詳細設定-> 内蔵デバイスオプション-> スピーカーとヘッドフォン</p>	チェック有 (有効)	ノートのみ
<input type="checkbox"/> 内蔵 GPS デバイス (Embedded GPS device)	Setting	<p>チェックが有効の場合、内蔵 GPS デバイスが有効になります。</p> <p>2014 ノート: 2015 新機能</p>	チェック有 (有効)	ノートのみ
<input type="checkbox"/> Intel® Smart Sound	Setting	<p>チェックが有効の場合、Intel®スマートサウンドが有効になります。</p> <p>2014 ノート: 2015 新機能</p>	チェック有 (有効)	Intel ノートのみ
<input type="checkbox"/> ワイヤレスボタンのロック (Lock Wireless Button)	Setting	<p>チェックが有効の場合、ワイヤレスボタンを使用して WLAN デバイスをオン/オフする事ができなくなります。</p> <p>2014 ノート: 詳細設定-> 内蔵デバイスオプション-> 無線ボタン状態</p>	Unchecked	ノートのみ
アイドル状態のファン速度の増加(%) (Increase Idle Fan Speed (%))	Setting	<p>デスクトップの温度センサーの制御により通常はファンがオフの状態になっている時にファンを稼働させる際の最小ファン速度を設定します。 .</p> <p>ファン速度を 0-100% で設定します。</p> <p>2014 デスクトップ: 電源-> 温度-> ファンアイドルモード</p>	0	Desktop のみ
<input type="checkbox"/> ワイヤレスネットワークデバイス (WLAN) (Wireless Network Device (WLAN))	Setting	<p>チェックが有効の場合、内蔵の 802.11 デバイスが有効になります。</p> <p>2014 ノート: 詳細設定-> 内蔵デバイスオプション-> 内蔵無線 LAN デバイス</p>	チェック有 (有効)	ノートのみ
<input type="checkbox"/> モバイルネットワークデバイス (WWAN) (Mobile Network Device (WWAN))	Setting	<p>チェックが有効の場合、内蔵の無線 WAN デバイスが有効になります。</p> <p>2014 ノート: 詳細設定-> 内蔵デバイスオプション-> 内蔵無線 WAN デバイス</p>	チェック有 (有効)	ノートのみ

<input type="checkbox"/> ブルートゥース (Bluetooth)	Setting	チェックが有効の場合、内蔵の Bluetooth デバイスが有効になります。 2014 ノート: 詳細設定-> 内蔵デバイスオプション-> 内蔵 Bluetooth デバイス	チェック有 (有効)	ノートのみ
<input type="checkbox"/> LAN/無線 LAN 自動切り 替え (LAN/WLAN Auto Switching)	Setting	チェックが有効の場合、内蔵無線 LAN デバイスと内蔵 LAN コントローラーの自動切り替えが有効になります。LAN 接続が検出されると無線 LAN が無効になります。 2014 ノート: 詳細設定-> 内蔵デバイスオプション-> LAN/WLAN 切り替え	チェック無 (無効)	ノートのみ
<input type="checkbox"/> バッテリー モードでのウェイク オン LAN (Wake on LAN in Battery Mode)	Setting	チェックが有効の場合、バッテリーから給電されている時のウェイク オン LAN が有効になります。	チェック無 (無効)	ノートのみ
<input type="checkbox"/> 外部電源の使用時はファンを常にオン (Fan Always on while on AC Power)	Setting	チェックが有効の場合、外部電源を使用している間ファンを常にオンにします。 2014 ノート: 詳細設定-> デバイス構成-> 外部電源の使用時はファンを常にオン	チェック無 (無効)	ノートのみ
<input type="checkbox"/> Boost Converter	Setting	チェックが有効の場合、CPU が利用可能な電力を増加させて CPU が瞬間的にパフォーマンスを得るために外部電源に接続されている時にバッテリーから電力を得ます。	チェック有 (有効)	ノートのみ
バックライト付きキーボードのタイムアウト (Backlit Keyboard Timeout)	Setting	キーボードのバックライト LED のタイムアウト期間を設定します。以下の設定が選択可能です。 <ul style="list-style-type: none"> • 5 秒 (5 secs) • 15 秒 (15 secs) • 30 秒 (30 secs) • 1 分 (1 min) • 5 分 (5 min) • Never 2014 ノート: 2015 新機能	15 秒	ノートのみ
<input type="checkbox"/> 指紋認証デバイス (Fingerprint Device)	Setting	チェックが有効の場合、指紋認証デバイスが有効になります。	チェック有 (有効)	ノートのみ
<input type="checkbox"/> 内蔵カメラ (Integrated Camera)	Setting	チェックが有効の場合、内蔵カメラが有効になります。	チェック有 (有効)	ノートのみ

5.8 ポート オプション メニュー

このサブメニューではポートに関する設定を行います。

表 23 ポート オプション メニューの機能

詳細設定 (Advanced) -> ポート オプション (Port Options)				
機能	タイプ	説明	初期値	注記
<input type="checkbox"/> サンダーボルト ポート (Thunderbolt Port)	Setting	サンダーボルトは 1 つのコンパクトなポートを通じて高解像度のディスプレイや高速なデータ転送をサポートする新しい I/O テクノロジーです。 チェックが有効の場合、内蔵サンダーボルトポートが有効になります。 2014 ノート: 2015 新機能	チェック有 (有効)	ノートのみ
サンダーボルトのセキュリティレベル (Thunderbolt Security Level)	Setting	以下の設定が選択可能です。 <ul style="list-style-type: none"> • PCIe とディスプレイポート-セキュリティなし (PCIe and DisplayPort - No Security) • PCIe とディスプレイポート-ユーザー認証 (PCIe and DisplayPort - User Authorization) • PCIe と DisplayPort - 安全な接続 (PCIe and DisplayPort - Secure Connect) • DisplayPort のみ (DisplayPort Only) 2014 ノート: 2015 新機能	PCIe と ディスプレイポート-セキュリティなし	ノートのみ
<input type="checkbox"/> USB ポート (USB Ports)	Setting	チェックが有効の場合、USB ポートが有効になります。	チェック有 (有効)	ノートのみ
<input type="checkbox"/> USB 充電用ポート (USB Charging Port)	Setting	チェックが有効の場合、ハイバーネーション中やシャットダウンされた状態でも USB 充電用ポートからデバイスに給電できるようになります。この設定はデスクトップの “USB 充電用ポートの機能” と同じです。 2014 ノート: 2015 新機能	チェック無 (無効)	ノートのみ
<input type="checkbox"/> メディアカードリーダー (Media Card Reader)	Setting	チェックが有効の場合、内蔵メディアカードリーダーが有効になります。この設定はデスクトップの “メディア カード スロット /SD_RDR USB” と同じです。 2014 ノート: 詳細設定->電源オプション->フラッシュメディアリーダー	チェック有 (有効)	ノートのみ

<input type="checkbox"/> スマート カード (Smart Card)	Setting	チェックが有効の場合、内蔵スマートカードスロットが有効になります。	チェック有 (有効)	ノートのみ
<input type="checkbox"/> スマート カードの省電力 (Smart Card Power Savings)	Setting	チェックが有効の場合、スマート カードの省電力機能が有効になります。これによりカードが取り外された際にセッションが維持されなくなります。 2014 ノート: 詳細設定 -> デバイス構成-> スマート カードリーダーの電源設定	チェック有 (有効)	ノートのみ
<input type="checkbox"/> シリアル ポート A(B) (Serial Port A (B))	Setting	チェックが有効の場合、シリアルポート A(B)が有効になります。 2014 デスクトップ: セキュリティ-> デバイスセキュリティ-> シリアルポート A (B)	チェック有 (有効)	デスクトップのみ
I/O Address A (B)	Setting	以下の設定が選択可能です。 <ul style="list-style-type: none"> • Auto • 3F8 • 2F8 • 3E8 • 2E8 2014 デスクトップ: カスタム-> オンボードデバイス-> シリアルポート A (B)	Auto	デスクトップのみ
Interrupt A (B)	Setting	以下の設定が選択可能です。 <ul style="list-style-type: none"> • Auto • IRQ 3 • IRQ 4 • IRQ 5 • IRQ 10 2014 デスクトップ: カスタム-> オンボードデバイス-> シリアルポート A (B)	Auto	デスクトップのみ
SATA0 (1,2,3,4,5)	Setting	チェックが有効の場合、SATA ポートが有効になります 2014 デスクトップ: セキュリティ-> デバイスセキュリティ-> SATA0 (1,2,3,4,5)	チェック有 (有効)	デスクトップのみ
<input type="checkbox"/> 前部 USB ポート (Front USB Ports)	Setting	チェックが有効の場合、前部の USB ポートが有効になります。 2014 デスクトップ: セキュリティ-> USB セキュリティ-> 前面の USB ポート	チェック有 (有効)	デスクトップのみ
<input type="checkbox"/> 後部 USB ポート (Rear USB Ports)	Setting	チェックが有効の場合、後部の USB ポートが有効になります。 2014 デスクトップ: セキュリティ-> USB セキュリティ-> 背面の USB ポート	チェック有 (有効)	デスクトップのみ

□ USB 充電用ポートの機能 (USB Charging Port Function)	Setting	チェックが有効の場合、ハイバーネーション中やシャットダウンされた状態でも USB 充電用ポートからデバイスに給電できるようになります。この設定はノートの“USB 充電用ポート”と同じです。 2014 デスクトップ: カスタム->デバイス オプション->USB 充電用ポート	チェック有 (有効)	デスクトップのみ
□ メディアカードスロット/SD_RDR USB (Media Card Reader/SD_RDR USB)	Setting	チェックが有効の場合、内蔵メディアカードリーダーが有効になります。この設定はノートの“メディアカードリーダー”と同じです。 2014 デスクトップ: 2015 新機能	チェック有 (有効)	デスクトップのみ
USB デバイスの制限 (Restrict USB Devices)	Setting	以下の設定が選択可能です。 <ul style="list-style-type: none"> すべての USB デバイスを許可 (Allow all USB Devices) キーボードおよびマウスのみを許可 (Allow only keyboard and mouse) ストレージデバイスおよびハブ以外を許可 (Allow all but storage devices and hubs) 2014 デスクトップ: 2015 新機能	すべての USB デバイスを許可	デスクトップのみ

5.9 オプション ROM の起動ポリシーメニュー

このサブメニューではシステムの起動時に読み込むデバイスオプション ROM の設定を行います。

表 24 オプション ROM の起動ポリシーメニューの機能

詳細設定 (Advanced) -> オプション ROM の起動ポリシー (Option ROM Launch Policy)				
機能	タイプ	説明	初期値	注記
オプション ROM の起動ポリシー (Configure Option ROM Launch Policy)	Setting	<p>以下の設定が選択可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> すべてのレガシー (All Legacy) すべての UEFI (All UEFI) ビデオを除くすべての UEFI (UEFI Except Video) <p>2014 ノート; 2015 新機能 2014 デスクトップ: 2015 新機能</p> <p>この機能は以下の機能を統合したものです。 カスタム->オプション ROM の起動ポリシー</p> <p>以下の個別の機能があります。</p> <p>PXE Option ROM Storage Option ROM Video Option ROM</p> <p>以下の設定が選択可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> レガシーのみ+ UEFIのみ 起動しない 	すべてのレガシー	

5.10 Power Management Options メニュー

このサブメニューでは電源管理のための設定を行います。

表 25 Power Management Options メニューの機能

詳細設定 (Advanced) ->Power Management Options				
機能	タイプ	説明	初期値	注記
<input type="checkbox"/> 実行時の電源管理 (Runtime Power Management)	Setting	チェックが有効の場合、実行時の電源管理を有効にします。 2014 デスクトップ:電源 ->OS 電源管理->実行時の電源管理	チェック有 (有効)	デスクトップのみ
<input type="checkbox"/> アイドル状態の拡張電力設定 (Extended Idle Power States)	Setting	チェックが有効の場合、OS のアイドル状態での省電力を増強します。 2014 デスクトップ:電源 r-> OS 電源管理 -> アイドル時の節電	チェック有 (有効)	デスクトップのみ
<input type="checkbox"/> S5 最大省電力 (S5 Maximum Power Savings)	Setting	チェックが有効の場合、S5 (オフ) 状態でのシステムの消費電力を最小化します。 注記: Windows 8 で高速起動が有効の場合は S4 (ハイバーネーション) 状態で電源を切ります。 2014 デスクトップ:電源->ハードウェアパワー マネジメント-> S5 最大省電力	チェック無 (無効)	デスクトップのみ
<input type="checkbox"/> SATA 電源管理 (SATA Power Management)	Setting	チェックが有効の場合、アイドル時に SATA バスが省電力状態になります。 2014 デスクトップ:電源->ハードウェアパワー マネジメント->シリアル ATA パワーマネジメント	チェック有 (有効)	デスクトップのみ
<input type="checkbox"/> ディープスリープ (Deep Sleep)	Setting	チェックが有効の場合、S3/S4/S5 状態の時にチップセットへの電力供給をオフにする事で消費電力を減らしてバッテリーの寿命を延ばします。 注意:ディープスリープを有効にすると外部電源なしでのウェイクオン USB などのいくつかの起動イベントが無効になります。 2014 ノート: 詳細設定->デバイス構成->ディープスリープ	チェック有 (有効)	ノートのみ
<input type="checkbox"/> PCI Express の電源管理 (PCI Express Power Management)	Setting	チェックが有効の場合、アイドル時に PCI Express バスが省電力状態になります。 2014 デスクトップ:電源->ハードウェアパワー マネジメント-> PCIExpress パワーマネジメント	チェック有 (有効)	

<input type="checkbox"/> キーボードコネクタからの電源投入 (Power On from Keyboard Ports)	Setting	<p>チェックが有効の場合、キーボードのキーを押す事でデスクトップの電源を投入できるようになります。</p> <p>2014 デスクトップ: 2015 新機能</p>	チェック有 (有効)	デスクトップのみ
<input type="checkbox"/> スリープ状態に固有の点滅速度 (Unique Sleep State Blink Rates)	Setting	<p>チェックが有効の場合、デスクトップが S4 状態の時に電源 LED が周期的に 4 回点滅を繰り返します。同様に S3 状態の時には 3 回点滅を繰り返します。チェックが無効の場合、デスクトップは S4 状態の時に電源 LED は点滅しません。(S5、電源オフの場合と同じです)</p> <p>S3 状態の時には 1 回の点滅を周期的に繰り返します。</p> <p>2014 デスクトップ: 電源 -> OS 電源管理 -> 各スリープ状態時の LED の点滅速度</p>	チェック無 (無効)	デスクトップのみ
<input type="checkbox"/> ディスプレイを開いた時に電源をオンにする (Wake when Lid is Opened)	Setting	<p>チェックが有効の場合、ディスプレイを開いた時にノートがスリープ状態から復帰します。</p> <p>2014 ノート: 詳細設定 -> 内蔵デバイスオプション -> ディスプレイを開いた時に電源をオンにする</p>	チェック無 (無効)	ノートのみ
<input type="checkbox"/> ウェイク オン USB (Wake on USB)	Setting	<p>チェックが有効の場合、USB 入力デバイス (マウスの操作やキーボードからキー入力) をトリガー、としてノートがスリープ状態から復帰します。</p> <p>2014 ノート: 2015 新機能</p>	チェック有 (有効)	ノートのみ
<input type="checkbox"/> 電源管理 (Power Control)	Setting	<p>チェックが有効の場合、ノートはバッテリーの使用をインテリジェントに管理して企業の消費電力コストを抑える事を助ける IPM+などの電源管理アプリケーションをサポートします。</p> <p>2014 ノート: 2015 新機能</p>	チェック無 (無効)	ノートのみ

5.11 Remote Management Options メニュー (Intel のみ)

このサブメニューでは Intel Active Management Technology(AMT)のための設定を行います。

表 26 Remote Management Options メニューの機能

詳細設定 (Advanced) --> Remote Management Options				
機能	タイプ	Description	Default	Notes
<input type="checkbox"/> Active Management Technology (AMT)	Setting	チェックが有効の場合、AMT が有効になり AMT の各機能の設定が可能になります。 2014 ノート: 2015 新機能 2014 デスクトップ: カスタム -> 管理操作 -> AMT	チェック有 (有効)	Intel のみ
<input type="checkbox"/> USB Key Provisioning Support	Setting	チェックが有効の場合、USB フラッシュディスクを使用する AMT プロビジョニングが有効になります。 2014 ノート: 詳細設定 -> AMT オプション -> USB キー プロビジョニングサポート 2014 デスクトップ: 2015 新機能	チェック無 (無効)	Intel のみ
<input type="checkbox"/> USB Redirection Support	Setting	チェックが有効の場合、USB ストレージのリダイレクトが有効になります。 注記: Intel® AMT が適切にプロビジョニングされている必要があります。 2014 ノート and デスクトップ: 2015 新機能	チェック有 (有効)	Intel のみ
Unconfigure AMT on Next Boot	One time action	適用した場合、次回起動時に AMT 構成がクリアされます。以下のアクションが選択可能です。 <ul style="list-style-type: none"> Do Not Apply Apply 2014 ノート: 詳細設定 -> AMT オプション -> 次回起動時に AMT を構成解除 2014 デスクトップ: カスタム -> 管理操作 -> Unconfigure AMT/ME	Do Not Apply	Intel のみ
SOL Terminal Emulation Mode	Setting	シリアルオーバーLAN (SOL) ターミナルエミュレーションのモードを指定します。以下の設定が選択可能です。 <ul style="list-style-type: none"> ANSI VT100 2014 ノート: 詳細設定 -> AMT オプション -> SOL ターミナルエミュレーションモード 2014 デスクトップ: 2015 新機能	ANSI	Intel のみ

<input type="checkbox"/> Show Unconfigure ME Confirmation Prompt	Setting	<p>チェックが有効の場合、未構成の Intel® Management Engine に対する確認プロンプトが表示されます。</p> <p>2014 ノート: 2015 新機能</p> <p>2014 デスクトップ: カスタム -> 管理操作 -> Hide Unconfigure ME Confirmation Prompt</p>	チェック有 (有効)	Intel のみ
<input type="checkbox"/> Verbose Boot Messages	Setting	<p>チェックが有効の場合、ブートメッセージに追加の情報が表示されます。</p> <p>注記: AMT が無効の場合は利用できません。</p> <p>2014 ノート & デスクトップ: 2015 新機能</p>	チェック無 (無効)	Intel のみ
<input type="checkbox"/> Watchdog Timer	Setting	<p>チェックが有効の場合、ウォッチドッグタイマーが有効になります。</p> <p>2014 ノート: 2015 新機能</p> <p>2014 デスクトップ: カスタム -> 管理操作 -> Watchdog Timer</p>	チェック有 (有効)	Intel のみ
OS Watchdog Timer (min.)	Setting	<p>OS ウォッチドッグタイマー (分) を設定します。以下の設定が選択可能です。</p> <p>5、10、15、20、25</p> <p>2014 ノート: 2015 新機能</p> <p>2014 デスクトップ: カスタム -> 管理操作 -> OS Watchdog Timer</p>	5	Intel のみ
BIOS Watchdog Timer (min.)	Setting	<p>BIOS ウォッチドッグタイマー (分) を設定します。以下の設定が選択可能です。</p> <p>5、10、15、20、25</p> <p>2014 ノート: 2015 新機能</p> <p>2014 デスクトップ: カスタム -> 管理操作 -> BIOS Watchdog Timer</p>	5	Intel のみ
CIRA Timeout (min.)	Setting	<p>クライアントからのリモートアクセスのタイムアウト値を設定します。以下の設定が選択可能です。</p> <p>1 min、2 mins、3 mins、4 mins、Never.</p> <p>2014 ノート: 詳細設定 -> AMT オプション -> Intel CIRA の実行</p> <p>2014 デスクトップ: 2015 新機能</p>	1 min	Intel のみ

6 UEFI Drivers

メイン (Main)	セキュリティ (Security)	詳細設定 (Advanced)	UEFI ドライバー UEFI Drivers	
---------------	----------------------	--------------------	--	---

HP Computer Setup

これにより、システムを再起動して他社製オプション ROM の管理アプリケーションを起動します。
このアプリケーションを直接起動するには、起動時に[F3]キーを押します。

他社製オプション ROM の管理 (3rd Party Option ROM Management)

7 コンピューターからの通知

7.1 はじめに

システムボード上の電源 LED は POST の間にエラーが発生した場合、特定のパターンで点滅します。それと同時に内蔵のスピーカーから特定のパターンのビープ音を鳴らします。

エラー通知は以下の方法で行われます。

- LED の点滅またはビープ音
- 以下の内容の画面上への通知
 - ポップアップ メッセージ（トースト通知）
 - イベント ログ
 - プリブート メッセージ（BIOS）
 - HP System Information への通知: (モーダル通知)

モーダルとはそれが表示されている間はメイン ウィンドウを使用する事ができなくするグラフィックス制御の要素です。モーダル ウィンドウはサブウィンドウで、メインウィンドウに戻るためにユーザーの応答を必要とします。

トースト通知はモーダルではない通知で、自動終了するウィンドウを使用してユーザーに通知します。.

7.2 点滅とビープコード

システムエラーの中には画面表示ができなくなるものがあります。システムは LED ライトの点滅コードによってエラーの情報を通知します。使用される LED ライトはノートまたはデスクトップによって異なります。コードは連続的に提示されます。デスクトップでは、白色 LED の白色点滅の後に続く赤色点滅でシステムエラーを通知します。長短のビープ音はそれぞれ赤色点滅と白色点滅に対応しています。以下の表は点滅コードに意味を説明します。

表 27 コンピューターの通知

ノート		デスクトップ		説明
Caps Lock と Num Lock の LED	バッテリー LED	赤色 LED と長いビープ	白色 LED と短いビープ	
2		2	2	BIOS のメインエリア (DXE)が破損していて且つリカバリーバイナリイメージが使用できない。
8		2	3	内蔵コントローラーのポリシーによってユーザーによるキーシーケンスの入力が求められている。(SureStart 2.0)
	白とアンバーの点滅	2	4	内蔵コントローラーがブートブロックまたは DXE を回復しています。10 秒以上かかる場合があります。DXE イメージをロードしてビデオを回復するにはこのコードが必要です。(SureStart)
3		3	2	内蔵コントローラーが BIOS のメモリ初期化から戻るための待機中にタイムアウトしました。
4		3	3	内蔵コントローラーが BIOS のグラフィックス初期化から戻るための待機中にタイムアウトしました。
5		3	4	システムボードが電源障害を表示しました。
		3	5	CPU が検出されませんでした。
		3	6	CPU は有効にされた機能をサポートしていません。(TXT の場合にのみに出ます)
7	1	5	2	内蔵コントローラーは有効なファームウェアを見つけられません。

7.3 ポップアップメッセージ

USB タイプ C ポートに関するイベントについてはポップアップ（トースト）メッセージが表示されます。以下の表ではこれらのイベントについて説明します。

表 28 ポップアップ メッセージ

イベント	コード	メッセージ	詳細
Power Adapter Accepted: Matches capabilities to charge while in Sx	1	Title: USB Type-C Connector Text: "For full performance, connect a higher capacity power adapter."	接続された電源アダプターはデバイスを動作させるための電力が足りません。このアダプターはデバイスがスリープモードまたは電源オフの時に充電するために使用する事ができます。
Power adapter rejected: Upstream power flow is not supported	2	Title: USB Type-C Connector Text: "Charging system via adapter plugged into the USB port is not supported."	接続された電源アダプターはサポートされていない電力を必要としています。
Connected device requests more power than can be supplied	3	Title: USB Type-C Connector Text: "USB device requesting more power than system can provide." <i>Display system charging capability</i>	システムが供給可能な電力を超える電力を必要とするデバイスが接続されています。
Balance downstream power for charging from Multiple USB ports	4, 5	Title: USB Type-C Connector Text: "Charging from multiple USB ports may have limited support."	USB タイプ A ポートと USB タイプ C ポートの両方あるアダプター（または2つの USB タイプ C ポートのあるアダプター）が接続されましたが、システムは稼働中に両方のポートに対して給電する事ができません。
The attached dock cable is inadequate to handle the needed power load	6	Title: USB Connector Text: "For full performance, connect higher capacity USB cable to dock." <i>Display capabilities of the cable</i>	接続したドックはシステムの稼働とバッテリーの充電を同時に行うのに適切ではありません。
Power adapter rejected: Provider and consumer mismatch	7	Title: USB Connector Text: "The power adapter is not compatible with this system."	HP のシステムに対応していない（3 rd パーティ品の）電源アダプターが接続されています。

8 付録 1

8.1 UEFI とは?

Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) は起動中または起動プロセスの間にオペレーティングシステムとプラットフォームファームウェアの間のインターフェースを定義しています。BIOS と比べると UEFI はより多くの起動前のユーザーインターフェースをサポートしています。

The UEFI ネットワークスタックは、まだ従来の PXE 展開をサポートしながら より豊かなネットワークベース OS 展開環境の実装を可能にします。UEFI は IPv4 と IPv6 の両方をサポートします。加えて、セキュアブートのようなプラットフォームベンダーがプリブート環境でシステムを保護する OS に依存しないアプローチを実装することをサポートします。

HP ROM ベース セットアップ ユーティリティ (RBSU) 機能は追加の構成オプションによって UEFI インターフェースから利用できます。

8.2 はじめに

HP UEFI システム ユーティリティはシステム ROM に組み込まれています。UEFI システム ユーティリティでは以下のような広範囲の構成が可能です。

- システムデバイスとインストールオプションの構成
- システム機能の有効化と無効化
- システム情報の表示
- プライマリのブートコントローラまたはパーティションの選択
- メモリオプションの構成
- 組み込み UEFI シェルやインテリジェントプロビジョニングなどの他のプリブート環境の起動

8.3 UEFI の利点

- OS からのプラットフォームの分離と開発の分離
- モジュールドライバモデルと CPU から独立したオプション ROM の包含
- モジュールおよび拡張可能で OS ニュートラルな付加価値を提供
- OS ロダーは基盤となるハードウェアの変更と同じに保つ事ができます
- GPT パーティションの 2TB 以上のドライブをサポート

8.4 UEFI ブート プロセスの概要

UEFI インターフェースの目的は UEFI ドライバー、UEFI アプリケーションおよび UEFI OS ロダーを含む UEFI イメージで使用するための一般的なブート環境の抽象化を定義する事です。UEFI は、UEFI ドライバーと UEFI アプリケーションイメージを追加する事でプラットフォームファームウェアを拡張する事ができます。UEFI ドライバーと UEFI アプリケーションがローディングされるとそれらは全ての UEFI で定義された実行環境やブートサービスにアクセスします。

UEFI には 2 セットのサービスがあります。

- ブートサービス - UEFI アプリケーション (OS ロダーを含む) はデバイスへのアクセスやメモリの割り当てのためにブートサービスの機能を使用しなければなりません。これらのサービスは OS が実行するまでの間は利用する事ができません。
- ランタイムサービス - ランタイム サービスの主な目的はプラットフォームのハードウェア実装の重要な部分を OS から抽象化する事です。